

調査結果の概要

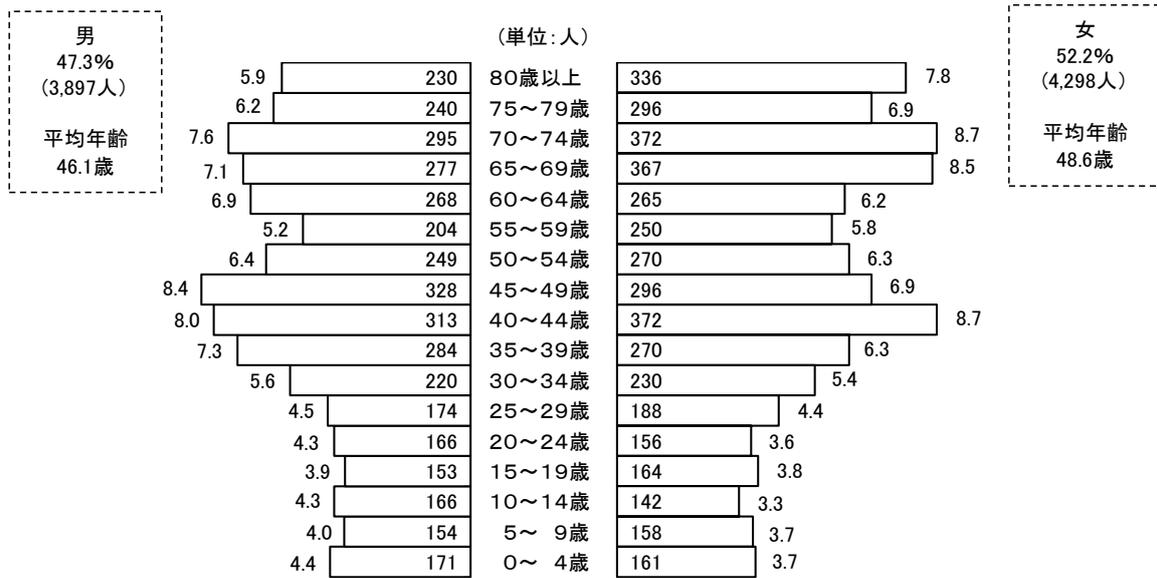
第1部 世帯と世帯員の状況

(調査票①(世帯票)の結果 集計対象世帯3,597世帯8,233人の概況)

第1章 集計対象者の性・年齢階級

集計対象者8,233人の世帯員の性別をみると、男性47.3%、女性52.2%、平均年齢は男性46.1歳、女性は48.6歳であった。(図I-1-1 本文17p)

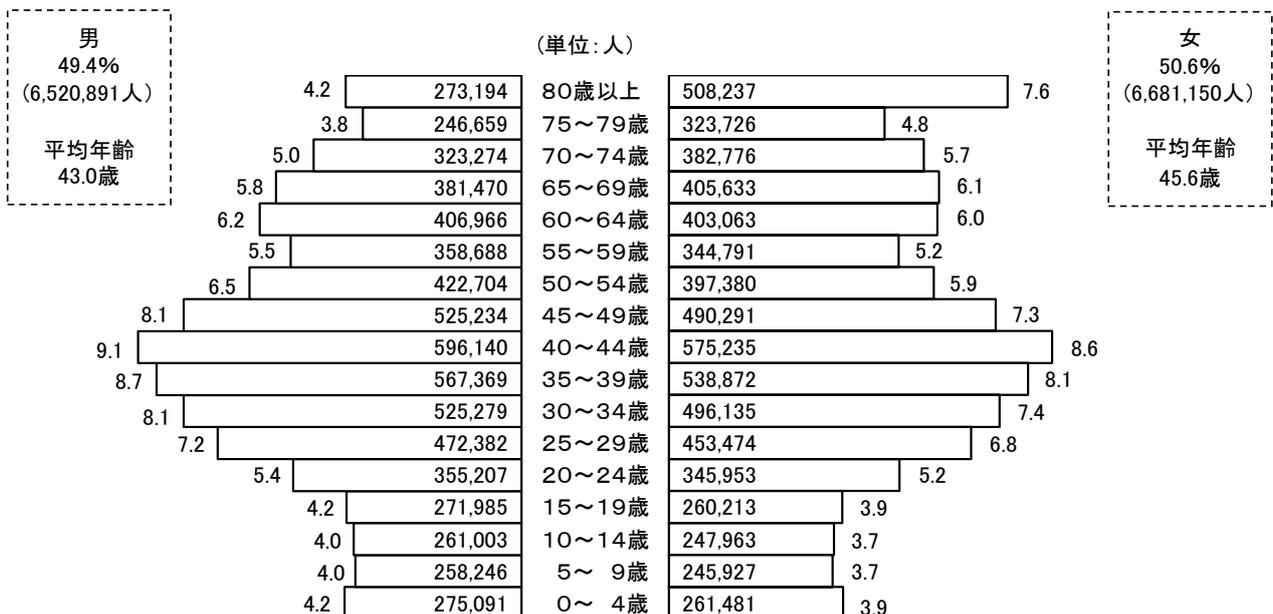
図I-1-1 集計対象者の性・年齢階級



注1) 男性47.3%、女性52.2%で合計が100%にならないのは、性別無回答の人がいるため。

2) 男性3,897人、女性4,298人には、それぞれ年齢無回答の人を含むため、内訳の総数と一致しない。

《参考》住民基本台帳による東京都の世帯と人口(平成26年1月1日)(総務局)



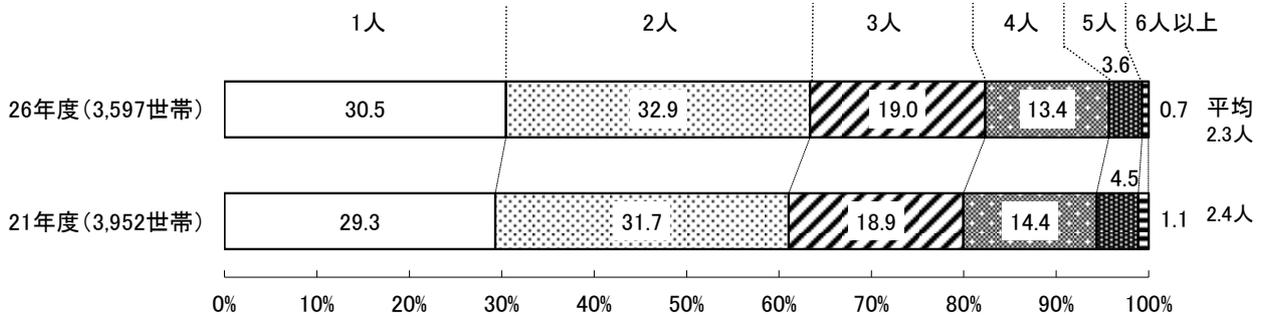
注) 図・表の番号は本文中の番号である。

第2章 世帯と世帯員の状況

1 世帯人員

集計対象者の平均世帯人員は 2.3 人となっている。世帯人員で最も割合が高いのは「2人」の 32.9%、次いで「1人」の 30.5%となっている。(図 I-2-1 本文 19p)

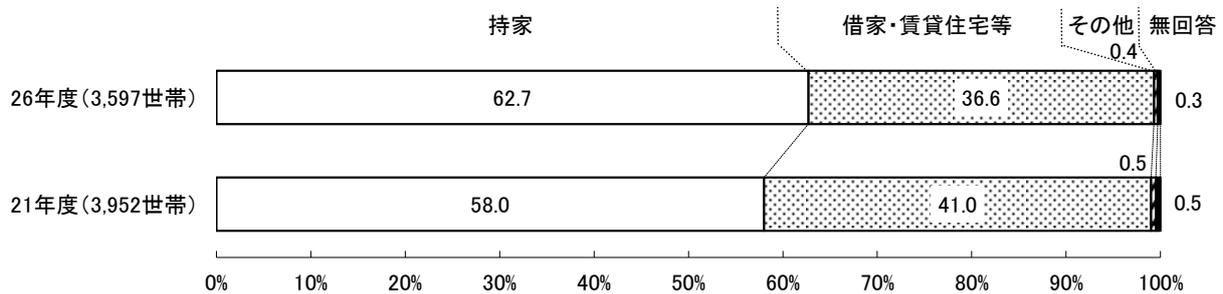
図 I-2-1 世帯人員



2 住居の状況

住居の種類割合は「持家」62.7%、「借家・賃貸住宅等」36.6%となっている。(図 I-2-5 本文 21p)

図 I-2-5 住居の種類



3 世帯員の就業の状況

世帯員の勤め先での呼称は雇用者(41.3%)のうち「正規の職員・従業員」が最も高く 25.2%、次いで「パート」6.3%、「アルバイト」3.2%と続く。(表 I-3-3 本文 33p)

表 I-3-3 就業の状況

| | 総数 | 就業者 | 雇用者 | | | | | | | | | | その他の就業者 | 無回答 | 非就業者 | 無回答 |
|------|------------------|------|------|-----------|-----|-------|----------|---------|-----|-----|-----|---------|---------|------|------|-----|
| | | | 雇用者 | 正規の職員・従業員 | パート | アルバイト | 労働者派遣事業所 | 契約社員・嘱託 | 役員 | その他 | 無回答 | その他の就業者 | | | | |
| 26年度 | 100.0 (8,233) | 51.1 | 41.3 | 25.2 | 6.3 | 3.2 | 1.0 | 2.8 | 1.7 | 0.3 | 0.6 | 9.3 | 0.5 | 48.5 | 0.4 | |
| 21年度 | 100.0 (9,353) | 51.8 | 40.4 | 24.3 | 5.9 | 3.0 | 1.2 | 2.7 | 2.2 | 0.3 | 0.7 | 10.5 | 1.0 | 47.0 | 1.2 | |

4 世帯収入の状況

(1) 主な世帯収入の種類

主な世帯収入の種類で最も高い割合は、「賃金・給料」の54.4%、次いで「年金・恩給」が29.5%と続いている。(表 I-2-3 本文 23p)

表 I-2-3 主な世帯収入の種類

| (単位:%) | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------|-------|------|-------------|-----|-------|------|----------------|--------|-----|
| | 総数 | 賃金・給料 | 事業所得 | 家賃・地代・配当・利子 | 仕送り | 年金・恩給 | 生活保護 | 雇用保険・その他の社会給付金 | その他の収入 | 無回答 |
| 26年度 | 100.0 (3,597世帯) | 54.4 | 7.0 | 2.9 | 1.0 | 29.5 | 2.8 | 0.2 | 0.9 | 1.3 |

【参考】

| (単位:%) | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------|-------|------|------|-------|-------|-----|-------|------|----------------|--------|-----|-----|
| | 総数 | 賃金・給料 | 事業所得 | 内職収入 | 家賃・地代 | 利子・配当 | 仕送り | 年金・恩給 | 生活保護 | 雇用保険・その他の社会給付金 | その他の収入 | 無回答 | |
| 21年度 | 100.0 (3,952世帯) | 57.6 | 7.3 | 0.2 | 2.5 | 0.1 | 1.0 | 26.4 | 2.1 | 0.2 | 0.3 | 0.7 | 1.5 |

(2) 世帯の年間収入

世帯の年間収入(平成25年)は、「200万円～300万円未満」の割合が14.7%と最も高くなっている。(表 I-2-4 本文 23p)

表 I-2-4 世帯の年間収入

| (単位:%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|-----|
| | 総数 | 100万円未満 | 100万円～149万円未満 | 150万円～199万円未満 | 200万円～249万円未満 | 250万円～299万円未満 | 300万円～349万円未満 | 350万円～399万円未満 | 400万円～449万円未満 | 450万円～499万円未満 | 500万円～549万円未満 | 550万円～599万円未満 | 600万円～649万円未満 | 650万円～699万円未満 | 700万円～749万円未満 | 750万円～799万円未満 | 800万円～849万円未満 | 850万円～899万円未満 | 900万円以上 | 無回答 |
| 26年度 | 100.0 (3,597世帯) | 4.9 | 12.5 | 14.7 | 13.7 | 9.6 | 8.7 | 6.0 | 5.5 | 4.1 | 4.1 | 3.6 | 1.2 | 1.1 | 0.8 | 0.9 | 2.1 | 1.6 | 4.9 | |
| 21年度 | 100.0 (3,952世帯) | 4.8 | 12.4 | 14.2 | 13.3 | 9.7 | 7.9 | 5.6 | 6.1 | 4.0 | 4.2 | 3.5 | 1.6 | 1.5 | 0.9 | 1.2 | 1.9 | 1.7 | 5.4 | |

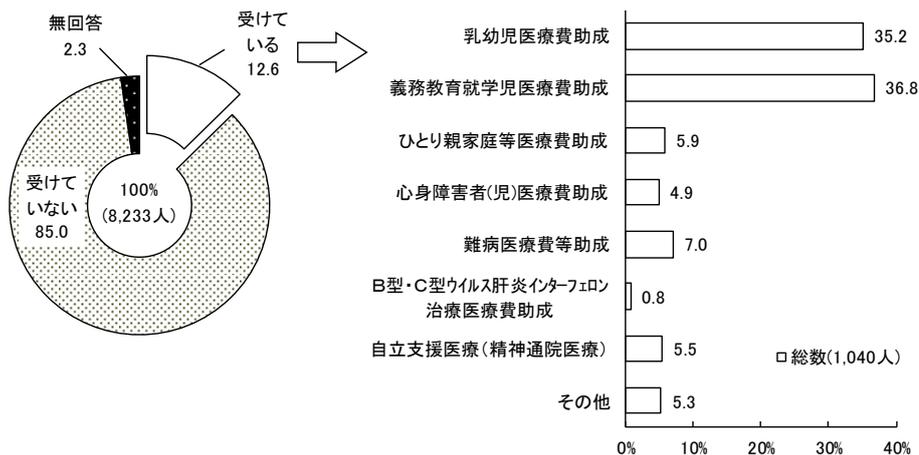
第3章 世帯における医療機関の受診状況（集計対象：8,233人の世帯員）

1 医療費助成の状況〔複数回答〕

この1年間に医療費助成を受けたかどうか聞いたところ、「受けている」人は12.6%、「受けていない」人は、85.0%となっている。

また、受けている人（1,040人）に、助成の種類を聞いたところ、「義務教育就学児医療費助成」の割合が最も高く36.8%、次いで、「乳幼児医療費助成」が35.2%となっている。（図I-4-1 本文35p）

図I-4-1 医療費助成の有無と種類〔複数回答〕

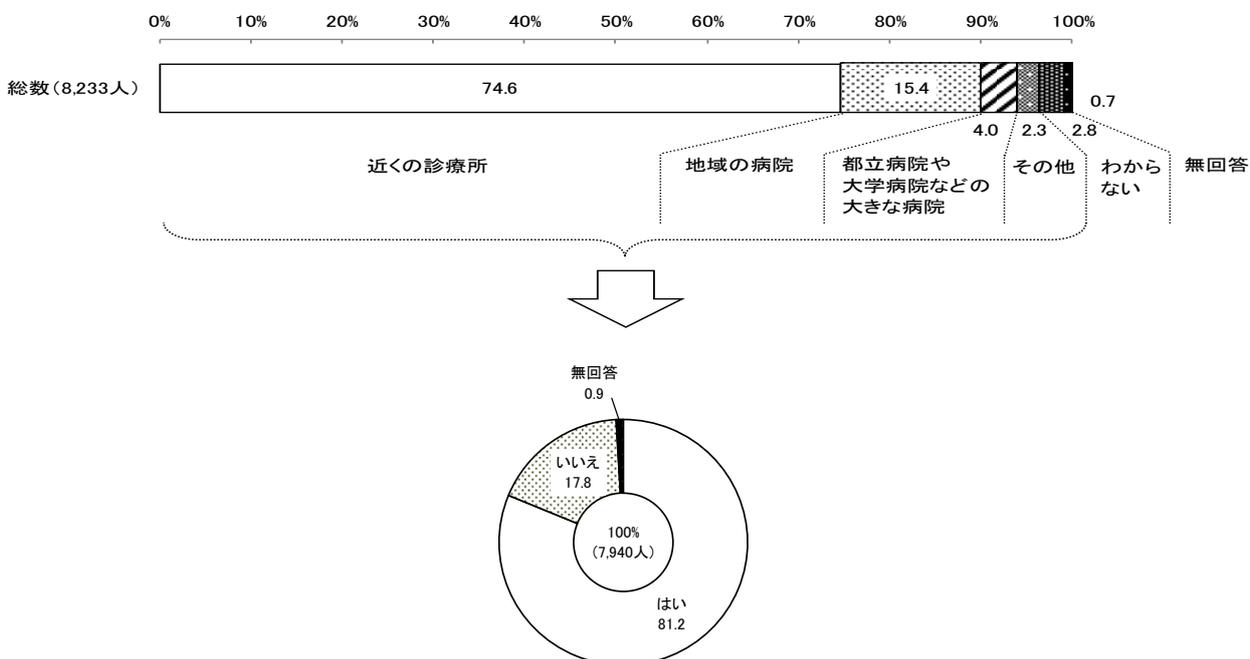


2 最初にかかる医療機関の種類とかかりつけ医の有無

かぜなどのちょっとした体の不調で、まず最初にかかる医療機関を聞いたところ、「近くの診療所」の割合が最も高く74.6%、次いで、「地域の病院」15.4%、「都立病院や大学病院などの大きな病院」4.0%となっている。

また、「わからない」と回答した人及び「無回答」を除く7,940人に、その医療機関がかかりつけ医かどうか聞いたところ、「はい」と答えた人の割合は、81.2%であった。（図I-4-4 本文41p）

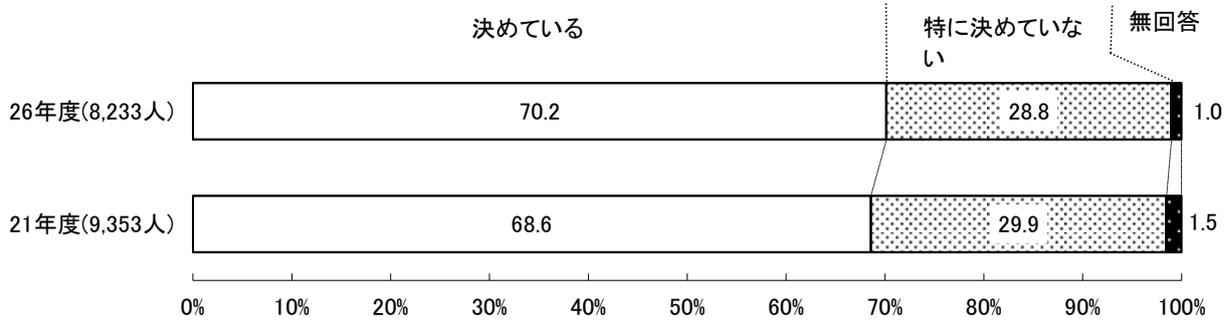
図I-4-4 最初にかかる医療機関の種類とかかりつけ医の有無



3 かかりつけ歯科医の有無

かかりつけ歯科医を「決めている」人の割合は 70.2%、「特に決めていない」人は 28.8%と、約 7 割の人がかかりつけ歯科医を決めている。(図 I-4-6 本文 44p)

図 I-4-6 かかりつけ歯科医の有無

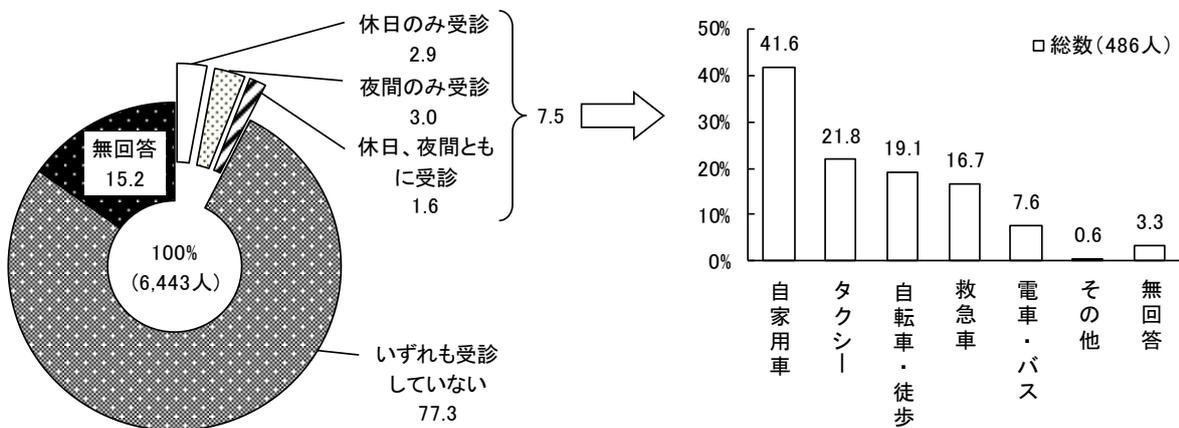


4 休日・夜間の医療機関の受診の有無と受診の際の交通手段[複数回答]

過去 1 年間に医療機関を受診したことのある人 (6,443 人) のうち、休日・夜間に医療機関を受診した人は、「休日のみ受診」の割合が 2.9%、「夜間のみ受診」が 3.0%、「休日、夜間ともに受診」が 1.6%となっており、合わせて 7.5%であった。

また、受診した人(486 人)に、受診の際の交通手段を聞いたところ、「自家用車」の割合が最も高く 41.6%、次いで「タクシー」が 21.8%となっている。(図 I-4-8 本文 49p)

図 I-4-8 休日・夜間の医療機関の受診の有無と受診の際の交通手段[複数回答]

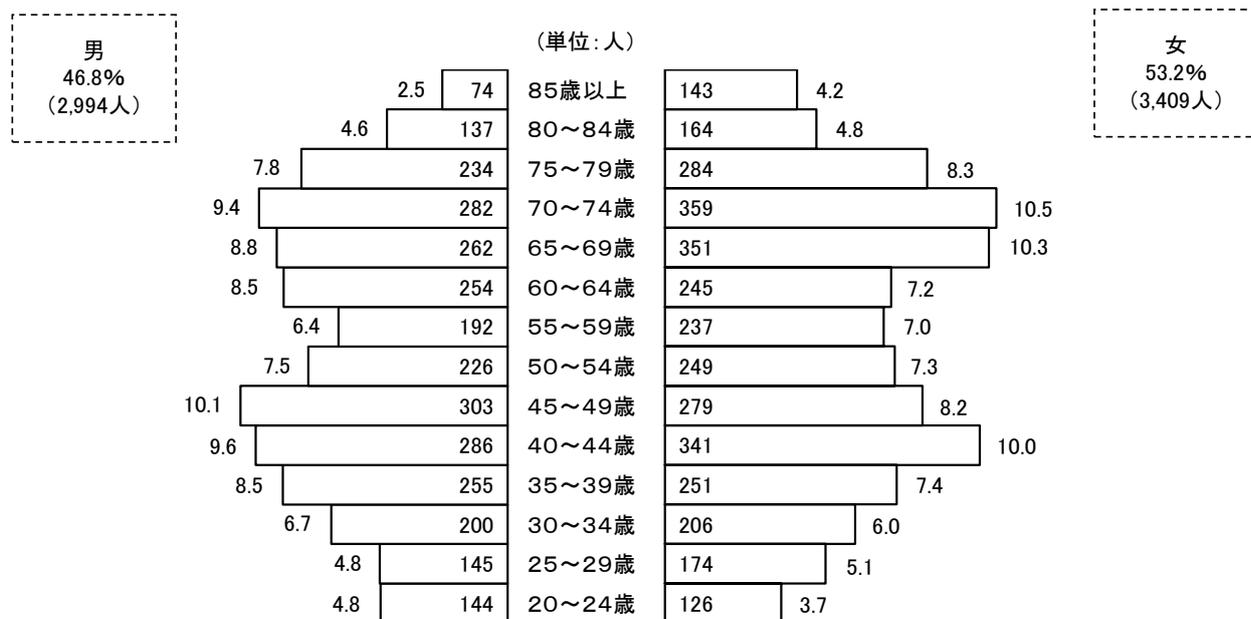


第2部 健康と医療に関する実態と意識

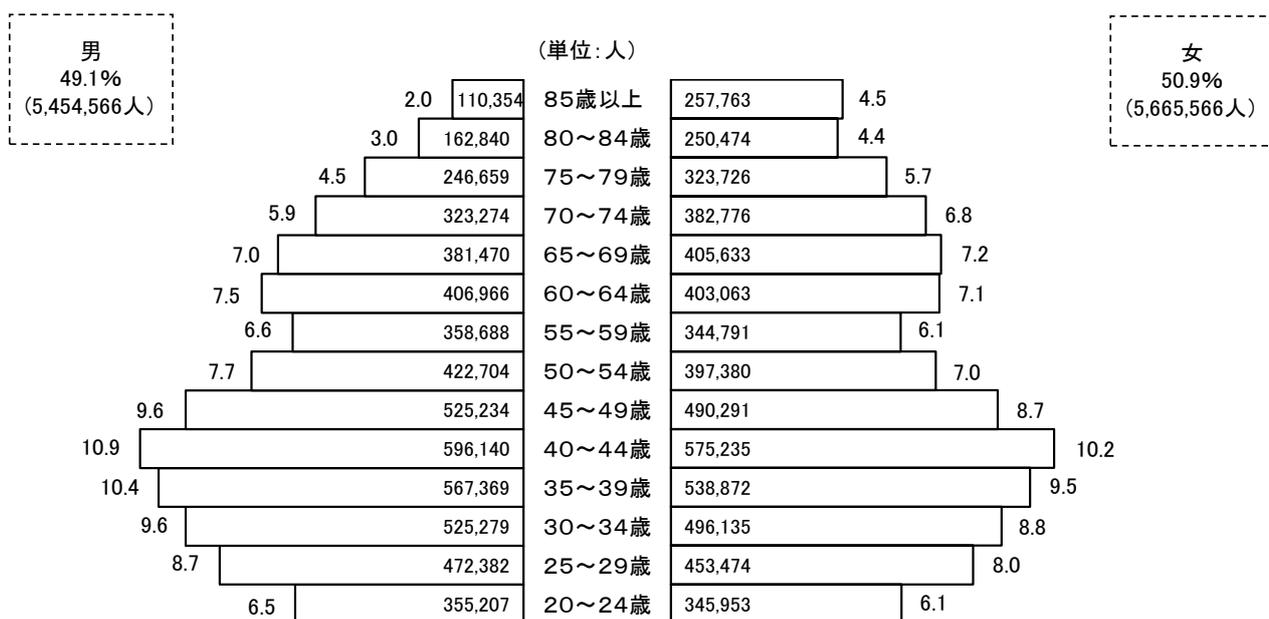
(調査票②(健康と医療に関する実態と意識)の結果 集計対象世帯 3,597 世帯の満 20 歳以上の世帯員 6,931 人を調査対象とし、6,403 人から回答を得た。)

回答者の性・年齢階級の内訳については、次のとおりである。(図Ⅱ-1-1 本文 53p)

図Ⅱ-1-1 回答者の性・年齢階級



《参考》住民基本台帳による東京都の世帯と人口 (平成 26 年 1 月 1 日) (総務局)



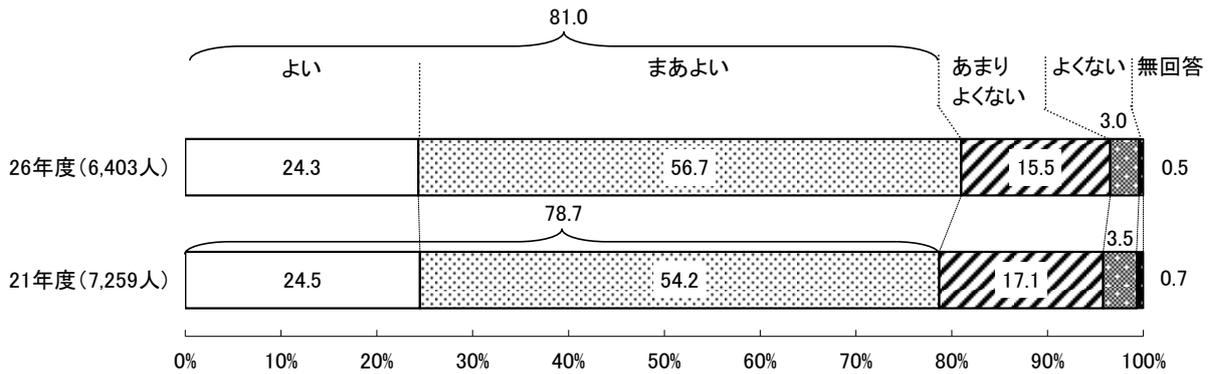
第1章 健康づくりの状況

1 健康状態の評価

自分の健康状態についてどのように感じているか聞いたところ、「まあよい」の割合が最も高く56.7%、次いで「よい」の割合が24.3%であった。「よい」「まあよい」を合わせた割合は81.0%となっている。(図Ⅱ-1-2 本文55p)

問 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。

図Ⅱ-1-2 健康状態の評価



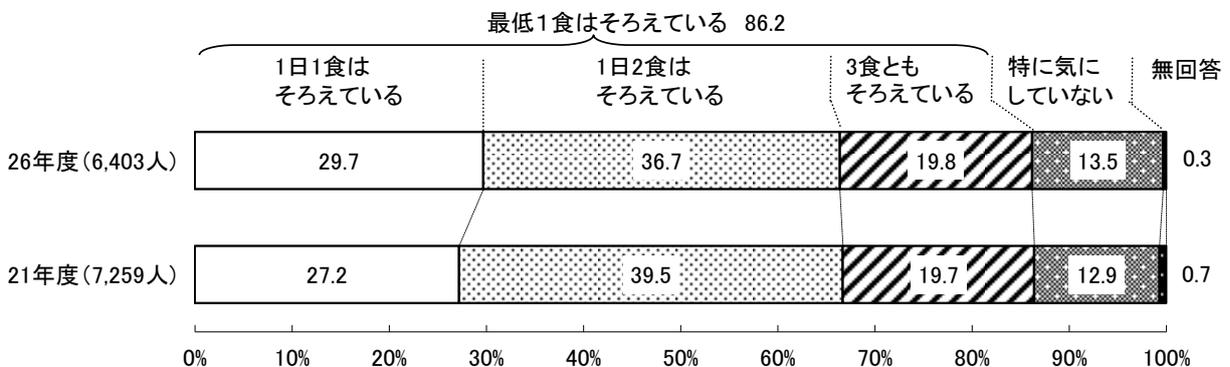
2 1日の食事の栄養バランス

ふだんの1日の食事(3食)のうち、何回、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしているか聞いたところ、「一日2食はそろえている」人の割合が最も高く36.7%であった。「3食ともそろえている」人は19.8%にとどまった。

また、「一日1食はそろえている」、「一日2食はそろえている」、「3食ともそろえている」を合わせた「一日最低1食はそろえている」人の割合は、86.2%であった。(図Ⅱ-1-4 本文58p)

問 あなたは、ふだんの1日の食事(3食)のうち、何回、主食(ご飯、パン、麺類など)、主菜(肉、魚、卵、豆腐などの豆製品を使ったおかず)、副菜(野菜を使ったおかず)をそろえた食事をしていますか。

図Ⅱ-1-4 1日の食事の栄養バランス



(1) 1日の食事の栄養バランス

－世帯類型（18歳未満の子供の有無、高齢者・母子・父子等）、配偶者の有無別

1日の食事の栄養バランスを、世帯類型（18歳未満の子供の有無）別にみると「3食ともそろえている」割合は、子どもがいない世帯に属する人(21.3%)の方が、子供がいる世帯に属する人(14.2%)よりも高くなっている。

世帯類型（高齢者・母子・父子等）別では、「3食ともそろえている」割合は、高齢者世帯（※）が35.9%と最も高くなっている。

配偶者の有無別でみると「3食ともそろえている」割合は、配偶者なしのうち未婚が10.5%と低くなっている。（表Ⅱ-1-2 本文60p）

表Ⅱ-1-2 1日の食事の栄養バランス

－世帯類型（18歳未満の子供の有無、高齢者・母子・父子等）、配偶者の有無別

| | | 総数 | そ ろ 日 え 1 て 食 い は る | そ ろ 日 え 2 て 食 い は る | そ ろ 日 え と も い る | い 特 に な い に し て | 無 回 答 |
|---|----------|------------------|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------|
| 総数 | | 100.0 (6,403) | 29.7 | 36.7 | 19.8 | 13.5 | 0.3 |
| 無 供 未 満 の 子 供 の 有 無 別 有 無 別 有 無 別 | 子供がいる世帯 | 100.0 (1,384) | 36.1 | 36.7 | <u>14.2</u> | 12.9 | 0.1 |
| | 子供がいない世帯 | 100.0 (5,016) | 27.9 | 36.7 | <u>21.3</u> | 13.7 | 0.4 |
| （ 高 齢 者 ・ 母 子 ・ 父 子 等 ） 世 帯 類 型 別 | 高齢者世帯 | 100.0 (1,492) | 19.9 | 36.2 | <u>35.9</u> | 7.4 | 0.6 |
| | 母子世帯 | 100.0 (30) | 26.7 | 40.0 | 10.0 | 23.3 | - |
| | 父子世帯 | 100.0 (2) | 100.0 | - | - | - | - |
| | その他の世帯 | 100.0 (4,876) | 32.7 | 36.8 | 15.0 | 15.3 | 0.2 |
| 配 偶 者 の 有 無 別 | 配偶者あり | 100.0 (4,088) | 29.1 | 38.7 | 21.5 | 10.3 | 0.3 |
| | 配偶者なし | 100.0 (2,285) | 30.8 | 32.8 | 16.9 | 19.2 | 0.3 |
| | 未婚 | 100.0 (1,415) | 34.1 | 31.6 | <u>10.5</u> | 23.5 | 0.2 |
| | 死別 | 100.0 (568) | 21.5 | 35.4 | 34.5 | 8.1 | 0.5 |
| | 離別 | 100.0 (302) | 32.8 | 33.8 | 13.6 | 19.5 | 0.3 |

※ 高齢者世帯

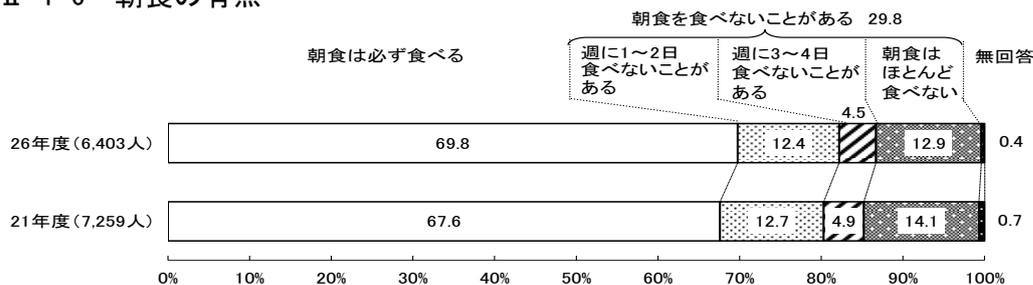
本人及び世帯員が65歳以上の世帯。もしくは、これに18歳未満の者が加わった世帯。

3 朝食の有無

朝食の有無について、「朝食は必ず食べる」の割合は69.8%であった。一方、「朝食はほとんど食べない」（12.9%）、「週に3～4日食べないことがある」（4.5%）、「週に1～2日食べないことがある」（12.4%）を合わせた「朝食を食べない（欠食する）ことがある」人の割合は29.8%であった。（図Ⅱ-1-6 本文62p）

問 あなたはふだん朝食を食べない（欠食する）ことがありますか。

図Ⅱ-1-6 朝食の有無



注) 「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合」「錠剤などのサプリメント、栄養ドリンク剤のみの場合」は欠食としている。

(1) 朝食の有無－食生活・生活習慣改善意欲、悩みやストレスの有無、睡眠時間の充足別

朝食の有無について、食生活・生活習慣改善意欲別にみると、「朝食は必ず食べる」の割合は、食生活・生活習慣改善意欲が十分にある人が 78.6%で最も高くなっている。一方で、「朝食はほとんど食べない」の割合は、食生活・生活習慣改善意欲がまったくない人が 33.6%となっている。

悩みやストレスの有無別にみると、「朝食は必ず食べる」の割合は、悩みやストレスがほとんどない人が 77.8%、あまりない人が 75.6%と 7 割を超えている。

睡眠時間の充足別にみると、「朝食は必ず食べる」の割合は、睡眠時間が十分足りている人が 79.2%、ほぼ足りている人が 70.5%と 7 割を超えている。一方で、「朝食はほとんど食べない」の割合は、睡眠時間がまったく不足している人が、23.0%で最も高くなっている。(表Ⅱ-1-4 本文 64p)

表Ⅱ-1-4 朝食の有無－食生活・生活習慣改善意欲、悩みやストレスの有無、睡眠時間の充足別

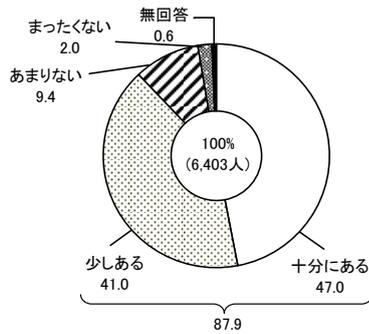
| | | 総 数 | 朝 食 は 必 ず 食 べ る | な 週 に こ と く が 2 日 食 べ る | な 週 に こ と く が 4 日 食 べ る | べ 朝 食 は ほ と ん ど 食 べ ない | 無 回 答 |
|---------------|------------|------------------|--------------------------------------|--|--|--|-------------|
| 総数 | | 100.0 (6,403) | 69.8 | 12.4 | 4.5 | 12.9 | 0.4 |
| 食生活・生活習慣改善意欲別 | 十分にある | 100.0 (3,007) | <u>78.6</u> | 9.9 | 3.3 | 7.9 | 0.2 |
| | 少しある | 100.0 (2,624) | 65.4 | 14.4 | 5.4 | 14.4 | 0.3 |
| | あまりない | 100.0 (604) | 50.5 | 15.6 | 6.6 | 27.3 | - |
| | まったくない | 100.0 (128) | 45.3 | 15.6 | 5.5 | <u>33.6</u> | - |
| 悩みやストレスの有無別 | よくある | 100.0 (1,614) | 61.6 | 14.6 | 5.8 | 17.5 | 0.5 |
| | たまにある | 100.0 (2,513) | 69.0 | 13.3 | 4.8 | 12.6 | 0.3 |
| | あまりない | 100.0 (1,432) | <u>75.6</u> | 11.2 | 3.7 | 9.3 | 0.2 |
| | ほとんどない | 100.0 (820) | <u>77.8</u> | 7.9 | 2.6 | 11.0 | 0.7 |
| 睡眠時間の充足別 | 十分足りている | 100.0 (1,598) | <u>79.2</u> | 8.1 | 2.8 | 9.3 | 0.6 |
| | ほぼ足りている | 100.0 (2,642) | <u>70.5</u> | 13.2 | 4.5 | 11.4 | 0.4 |
| | やや不足している | 100.0 (1,771) | 63.1 | 15.2 | 5.3 | 16.3 | 0.2 |
| | まったく不足している | 100.0 (356) | 55.3 | 13.2 | 8.1 | <u>23.0</u> | 0.3 |

4 食生活・生活習慣の改善意欲

自分の健康のために、食生活や身体活動の増加などの生活習慣をより良い方向にすることに
 関心があるか聞いたところ、「十分にある」と答えた割合が 47.0%、「少しある」が 41.0%となっ
 ており、これらを合わせた割合は 87.9%と食生活・生活習慣の改善意欲は高いことが伺える。(図
 II-1-8 本文 65p)

問 あなたは自分の健康のために、食生活や身体活動の増加などの生活習慣をより良い方向に
 することに関心がありますか。

図 II-1-8 食生活・生活習慣の改善意欲



注) 統計比率を合算した比率
 (87.9%)は、個々の数値を合
 算して求めているため、比率
 の内訳の合計とは一致しな
 い。

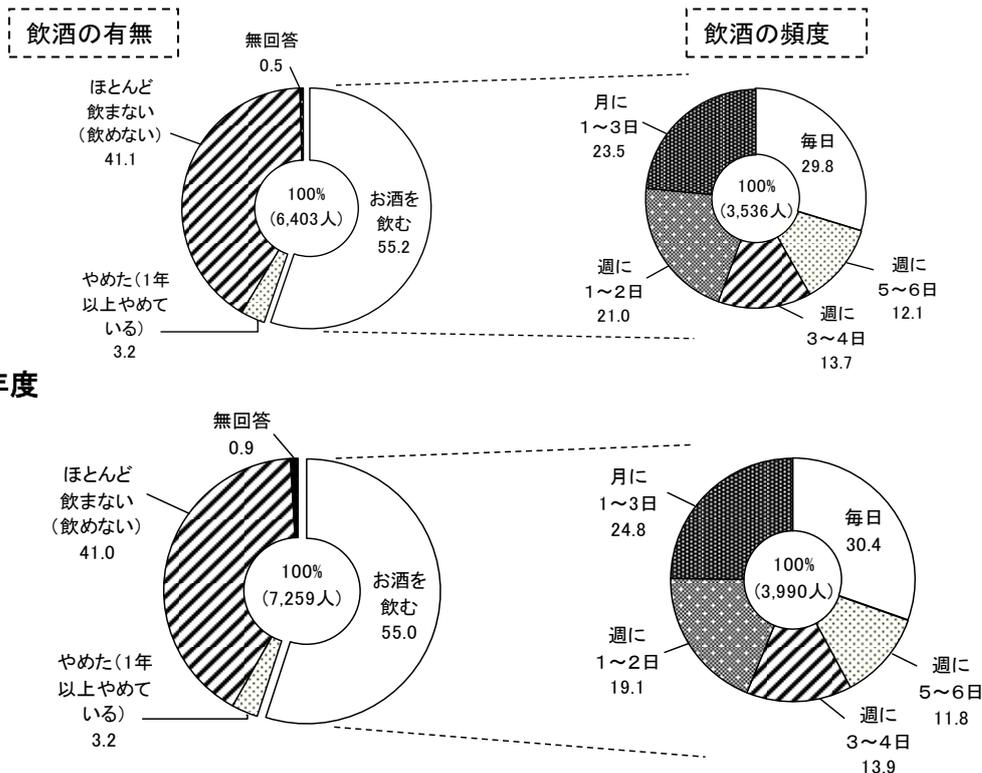
5 飲酒の有無、頻度

飲酒の割合は「お酒を飲む」が 55.2%、「ほとんど飲まない (飲めない)」が 41.1%、「やめた
 (1年以上やめている)」は 3.2%であった。

また、お酒を飲む人 (3,536 人) の飲酒の頻度は、「毎日」の割合が最も高く 29.8%、次いで
 「月に 1~3 日」23.5%、「週に 1~2 日」21.0%となっている。(図 II-1-10 本文 68p)

問 あなたがふだんお酒を飲む頻度はどれくらいですか。

図 II-1-10 飲酒の有無、頻度



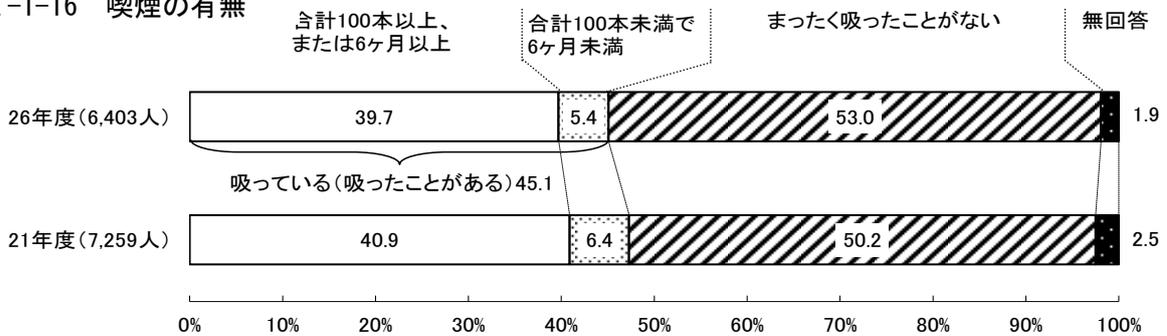
注) 飲酒の頻度 (右側のグラフ) のいずれかを回答した人を「お酒を飲む人」として集計した。

6 喫煙の有無

これまでにたばこを吸ったことがあるか聞いたところ、「合計 100 本以上、または 6 か月以上吸っている（吸っていた）」の割合が 39.7%、「吸ったことはあるが、合計 100 本未満で 6 か月未満」が 5.4%であった。一方「まったく吸ったことがない」は 53.0%と、喫煙経験がない人が 5 割であった。（図Ⅱ-1-16 本文 76p）

問 あなたは、これまでにたばこを吸ったことがありますか。

図Ⅱ-1-16 喫煙の有無

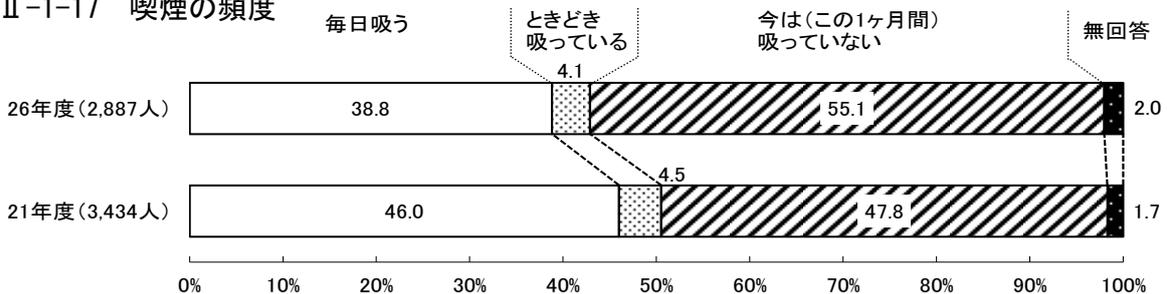


7 喫煙の頻度

たばこを吸っている(これまでに吸ったことがある)人(2,887人)に、現在(この1か月間)の喫煙頻度を聞いたところ、「毎日吸う」が 38.8%であった。一方、「今は(この1か月間)吸っていない」と答えた人も 55.1%であった。（図Ⅱ-1-17 本文 79p）

問 現在(この1ヶ月間)、あなたはたばこを吸っていますか。

図Ⅱ-1-17 喫煙の頻度



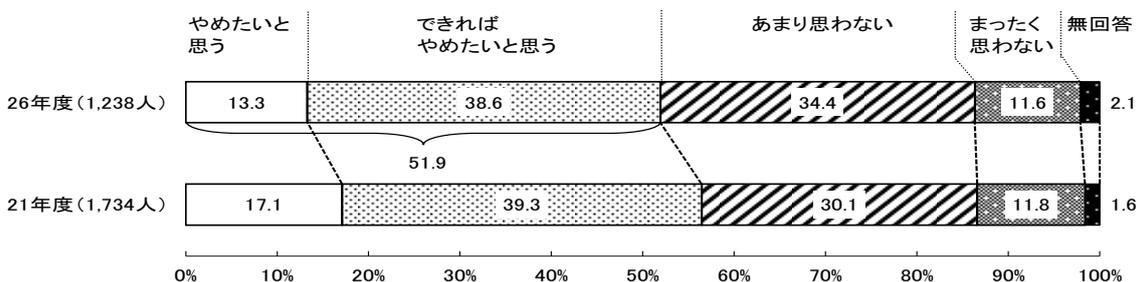
8 禁煙意欲の有無

現在(この1ヶ月間)たばこを「毎日吸う」「ときどき吸っている」と答えた人(1,238人)に、たばこをやめたいと思うか聞いたところ「できればやめたいと思う」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」34.4%、「やめたいと思う」13.3%となっている。

「やめたいと思う」「できればやめたいと思う」を合わせた禁煙意欲のある人の割合は 51.9%であった。（図Ⅱ-1-20 本文 84p）

問 あなたはたばこをやめたいと思いますか。

図Ⅱ-1-20 禁煙意欲の有無



9 生活活動・運動の推奨内容の実行度

健康維持・増進のために『生活活動（日常生活で身体を動かすこと）』と『運動』が推奨（※）されている。この内容を実行しているか聞いたところ、『生活活動（日常生活で身体を動かすこと）』は「1年以上継続して実行している」の割合が最も高く 33.9%で、次いで「時々、実行している」が 26.8%であった。

『運動』は「1年以上継続して実行している」の割合が 24.7%、「時々、実行している」が 24.3%と続くが、「実行していないし、実行しようとも考えていない」の割合も 17.2%であった。（図Ⅱ-1-24 本文 88p）

問 健康の維持・増進のために、以下のような内容の「生活活動（日常生活で身体を動かすこと）」が推奨されています。あなたは、この内容を実行していますか。

問 健康の維持・増進のために、以下のような内容の「運動」が推奨されています。あなたは、この内容を実行していますか。

推奨内容:生活活動

日常生活で、毎日合計 60 分(18 歳～64 歳。65 歳以上は合計 40 分)くらい身体を動かす(階段を上る、子どもと遊ぶ、そうじをする、歩くなど)ような生活をする

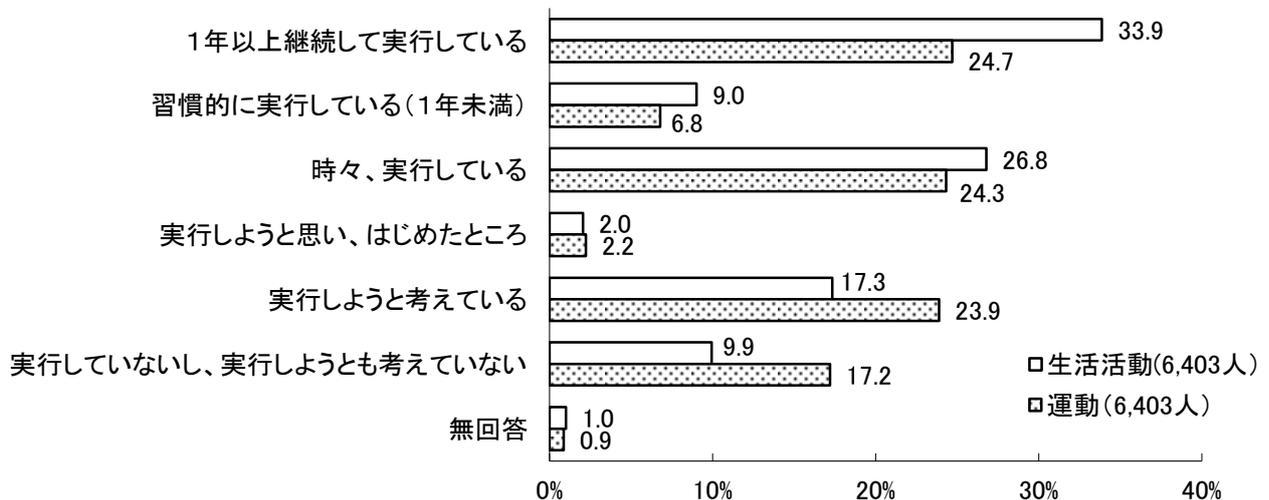
推奨内容:運動

1日 30 分以上の運動を週2日以上実施している

運動:速歩(ウォーキング)、ジョギング、テニス、水泳 など

(出典:「健康づくりのための身体活動基準 2013」厚生労働省)

図Ⅱ-1-24 生活活動・運動の推奨内容の実行度

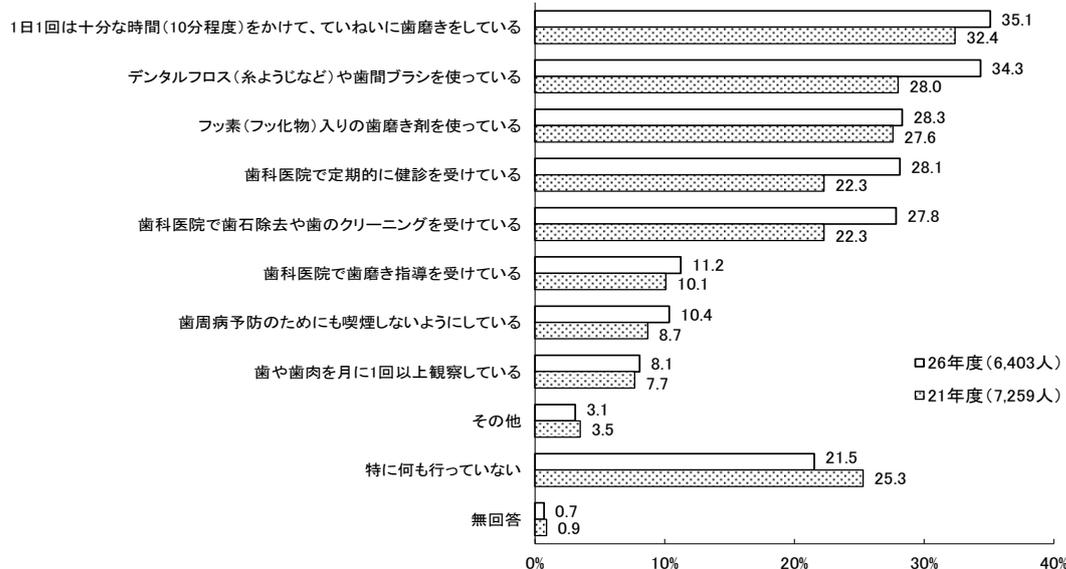


10 歯の健康づくりの状況[複数回答]

歯や歯肉の健康を保つために行っていることはあるか聞いたところ、「1日1回は十分な時間(10分程度)をかけて、ていねいに歯磨きをしている」の割合が35.1%で最も高く、次いで「デンタルフロス(糸ようじなど)や歯間ブラシを使っている」が34.3%であった。一方、「特に何も行ってない」人の割合も21.5%となっている。(図Ⅱ-1-27 本文91p)

問 歯や歯肉の健康を保つために行っていることはありますか。

図Ⅱ-1-27 歯の健康づくりの状況[複数回答]



第2章 健康食品の使用状況

1 健康食品の使用実態と使用のきっかけ

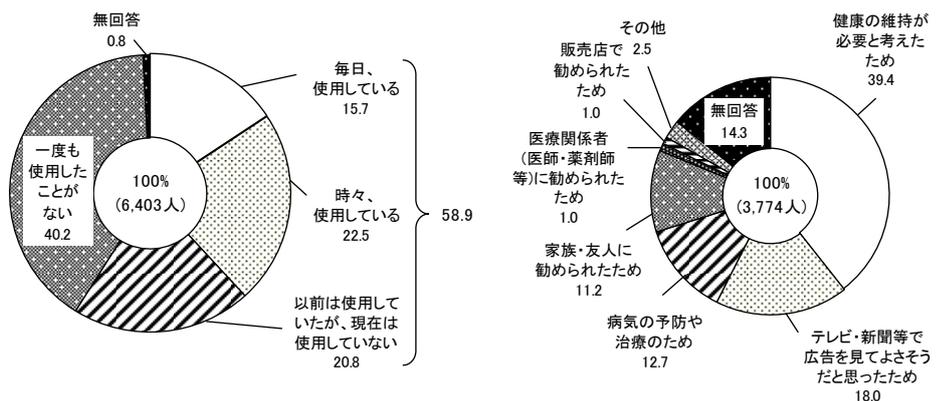
これまでに健康食品を使用したことがあるか聞いたところ「毎日、使用している」人が15.7%、「時々、使用している」人が22.5%、「以前は使用していたが、現在は使用していない」人が20.8%となっており、これらを合わせた健康食品を使用した人の割合は58.9%であった。

また、健康食品を使用した人(3,774人)に、使用するきっかけは何か聞いたところ「健康の維持が必要と考えたため」の割合が最も高く39.4%、次いで「テレビ・新聞等で広告を見てよさそうだったため」が18.0%と続いている。(図Ⅱ-2-2 本文97p)

問 あなたは、これまでに健康食品を使用しましたか。

問 あなたが健康食品を使用するようになったきっかけは何ですか。

図Ⅱ-2-2 健康食品の使用の有無と健康食品使用のきっかけ



注) 統計比率を合算した比率(58.9%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

2 健康食品の使用による体の不調の有無とその症状[複数回答]、医療機関の受診の有無

健康食品を使用した人(3,774人)に、健康食品の使用によって、体の不調を感じたことがあるか聞いたところ、「体の不調を感じたことがある」の割合が4.2%、「体の不調を感じたことはない」の割合が93.0%であった。(図Ⅱ-2-8 本文103p)

体の不調を感じたことがある人(160人)にその症状を聞いたところ、「下痢・腹痛」が33.8%、「発赤・発疹・体のかゆみ」が23.1%であった。(図Ⅱ-2-9 本文103p)

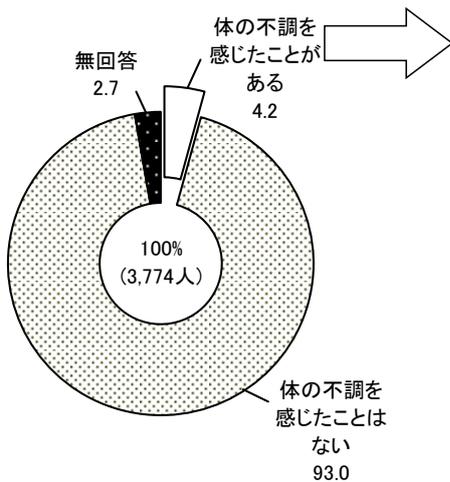
さらに、その症状で医療機関を受診したかどうか聞いたところ、「受診した」人は、30.6%であった。(図Ⅱ-2-10 本文103p)

問 あなたは健康食品を使用して体の不調を感じたことはありますか。

問 それは、どのような症状でしたか。

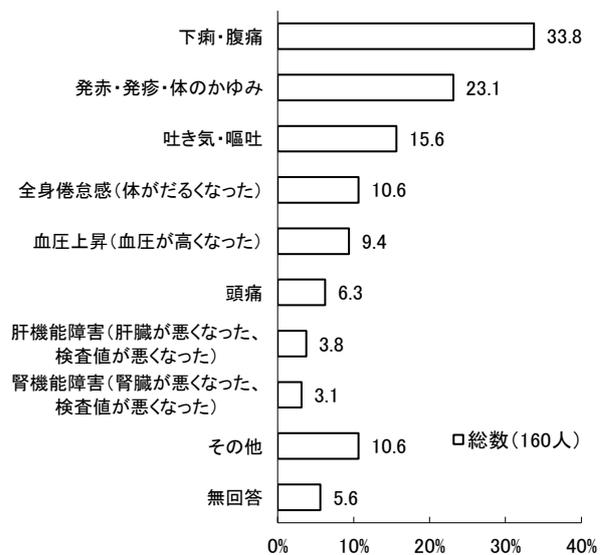
問 その症状で、医療機関を受診しましたか。

図Ⅱ-2-8 健康食品による体の不調の有無

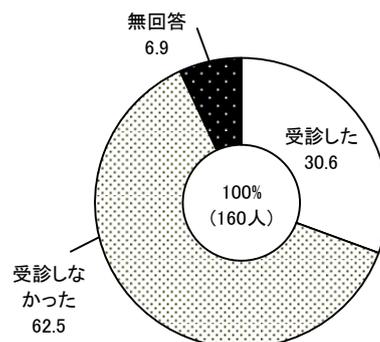


図Ⅱ-2-9 健康食品による体の不調(症状)

[複数回答]



図Ⅱ-2-10 健康食品による体の不調による医療機関受診の有無



(1) 悩みやストレスの原因[複数回答] 一性・年齢階級別

悩みやストレスの原因を性・年齢階級別にみると、男女とも「自分の仕事」と答えた割合が高く、男性 60.3%、女性 33.7%となっている。女性より、男性の方が 26.6 ポイント高くなっている。特に 30 代男性は 81.5%と最も高く、次いで 40 代男性 76.8%、50 代男性 75.8%となっている。

また、性別でみると、「家族との人間関係」、「育児」、「家事」が原因と答えた割合は、女性の方が男性より高くなっている。女性はそれぞれ 31.7%、11.8%、13.2%となっているのに対し、男性はそれぞれ 17.2%、3.8%、3.0%となっている。

65 歳以上では、「自分の病気や介護」が 36.9%で最も高く、次いで「家族との人間関係」23.7%となっている。(表Ⅱ-3-2 本文 111p)

表Ⅱ-3-2 悩みやストレスの原因[複数回答]一性・年齢階級別

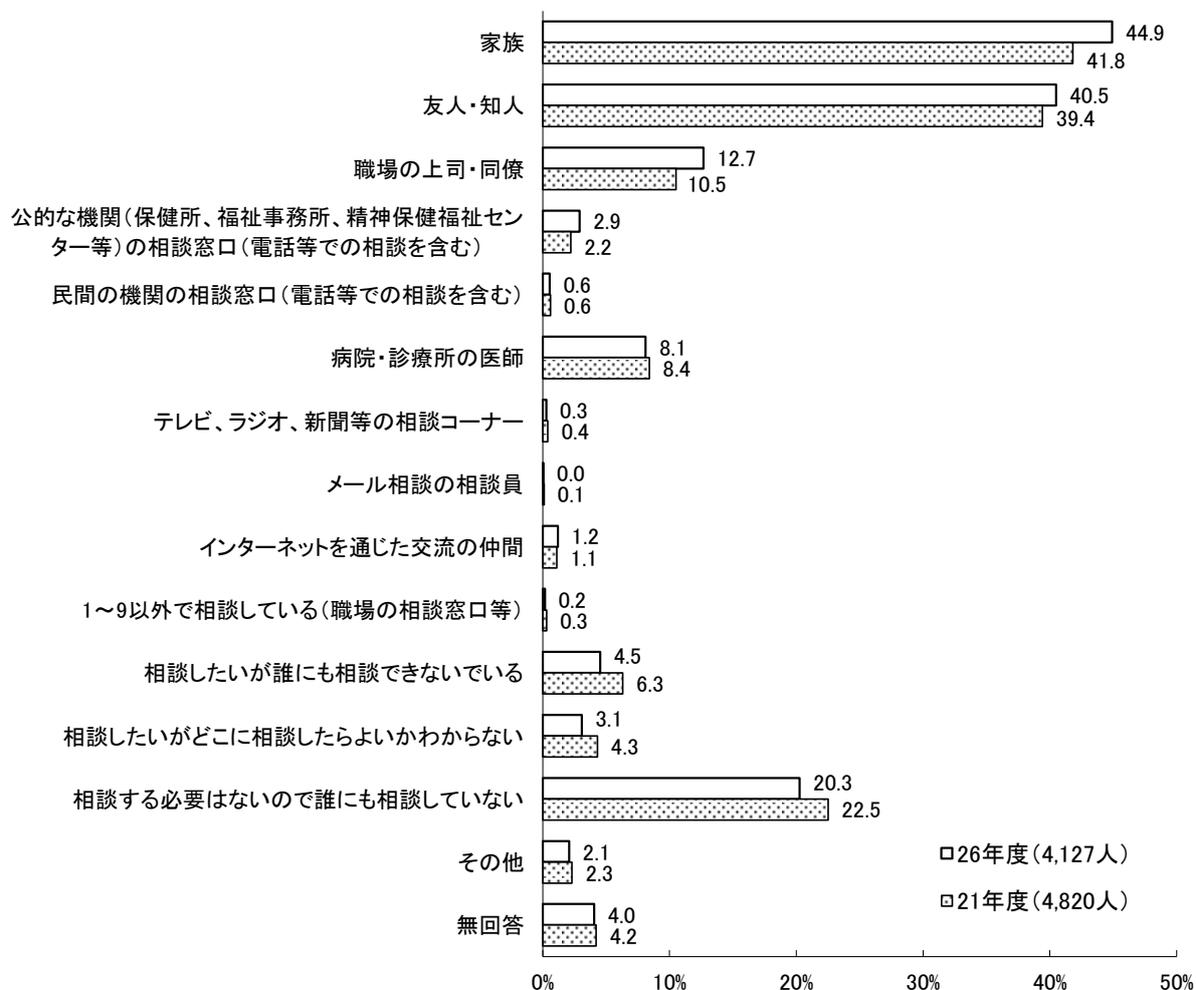
| | 総数 | 家族との人間関係 | 家族以外との人間関係 | 恋愛・性に関すること | 結婚 | 離婚 | はじめ、セクシュアル・ハラースメント | 生きがいに関すること | 自由にできる時間がない | 収入・家計・借金など | 自分の病気や介護 | 家族の病気や介護 | 妊娠・出産 | 育児 | 家事 | を教育(学業、受験及び進学を含む) | 子どもの結婚 | 就職(求職)に関すること | 自分の仕事 | 家族の仕事 | 住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情を含む) | その他 | わからない | 無回答 |
|---------------|------------------|----------|------------|------------|------|-----|--------------------|------------|-------------|------------|----------|----------|-------|------|------|-------------------|--------|--------------|-------|-------|--------------------------|-----|-------|-----|
| 総数 | 100.0 (4,127) | 25.4 | 28.3 | 5.0 | 3.5 | 1.1 | 1.0 | 15.2 | 12.0 | 29.7 | 20.7 | 17.1 | 1.4 | 8.3 | 8.7 | 8.8 | 3.2 | 6.0 | 45.3 | 5.7 | 11.3 | 2.8 | 1.4 | 2.8 |
| 男 | 100.0 (1,793) | 17.2 | 25.0 | 6.0 | 3.5 | 1.0 | 0.6 | 15.6 | 10.8 | 31.1 | 18.3 | 13.5 | 0.4 | 3.8 | 3.0 | 6.5 | 2.6 | 6.7 | 60.3 | 3.8 | 11.2 | 2.5 | 1.3 | 3.0 |
| 20~29歳 | 100.0 (182) | 14.8 | 35.7 | 14.8 | 6.0 | 1.1 | 1.6 | 23.1 | 19.8 | 33.5 | 4.9 | 3.8 | 1.6 | 4.9 | 4.4 | 12.6 | 0.5 | 28.6 | 61.5 | 3.8 | 11.5 | 0.5 | 2.2 | 1.6 |
| 30~39歳 | 100.0 (313) | 16.6 | 28.1 | 12.1 | 10.5 | 1.3 | 1.0 | 15.0 | 16.0 | 35.1 | 9.3 | 9.6 | 1.3 | 8.6 | 4.2 | 6.1 | - | 6.4 | 81.5 | 3.8 | 14.1 | 1.3 | 1.3 | 1.9 |
| 40~49歳 | 100.0 (418) | 17.5 | 25.6 | 5.7 | 3.6 | 1.4 | 1.0 | 12.2 | 12.9 | 35.4 | 12.2 | 11.2 | 0.2 | 6.5 | 3.6 | 11.5 | 0.2 | 4.3 | 76.8 | 3.6 | 11.5 | 1.9 | 1.0 | 2.9 |
| 50~59歳 | 100.0 (277) | 15.5 | 20.6 | 2.2 | 0.7 | 1.1 | - | 11.2 | 10.8 | 28.2 | 14.8 | 14.8 | - | 1.4 | 1.4 | 7.6 | 1.4 | 5.1 | 75.8 | 1.8 | 9.0 | 1.8 | 1.4 | 5.1 |
| 60~69歳 | 100.0 (293) | 19.5 | 22.5 | 2.0 | 0.3 | 0.7 | 0.3 | 16.7 | 5.5 | 29.0 | 26.6 | 19.8 | - | 0.3 | 1.7 | 1.0 | 6.5 | 4.4 | 45.1 | 3.4 | 11.6 | 3.4 | 0.3 | 2.7 |
| 70~79歳 | 100.0 (223) | 16.6 | 21.1 | 1.8 | - | 0.4 | - | 18.8 | 2.2 | 26.5 | 35.4 | 16.6 | - | - | 2.2 | 0.4 | 7.6 | 1.3 | 21.1 | 7.2 | 10.3 | 4.9 | 2.2 | 2.7 |
| 80歳以上 | 100.0 (87) | 21.8 | 20.7 | 2.3 | - | - | - | 19.5 | 3.4 | 19.5 | 48.3 | 25.3 | - | - | 4.6 | 1.1 | 4.6 | - | 5.7 | 3.4 | 6.9 | 6.9 | 1.1 | 4.6 |
| 女 | 100.0 (2,334) | 31.7 | 30.9 | 4.2 | 3.5 | 1.2 | 1.3 | 14.9 | 12.9 | 28.6 | 22.6 | 19.8 | 2.2 | 11.8 | 13.2 | 10.5 | 3.7 | 5.4 | 33.7 | 7.1 | 11.4 | 3.0 | 1.5 | 2.7 |
| 20~29歳 | 100.0 (231) | 22.1 | 40.3 | 19.9 | 11.3 | 0.9 | 0.9 | 18.6 | 19.5 | 32.9 | 10.0 | 3.9 | 3.0 | 12.1 | 10.0 | 9.1 | - | 20.3 | 58.0 | 3.5 | 12.6 | 0.4 | 2.2 | 1.3 |
| 30~39歳 | 100.0 (385) | 30.1 | 30.4 | 7.5 | 8.6 | 0.8 | 1.3 | 11.9 | 19.5 | 31.4 | 11.2 | 10.9 | 8.6 | 36.1 | 21.3 | 11.4 | - | 8.8 | 47.8 | 7.0 | 13.0 | 1.6 | 0.8 | 2.3 |
| 40~49歳 | 100.0 (493) | 36.5 | 35.1 | 3.7 | 3.4 | 2.4 | 2.4 | 16.2 | 16.6 | 35.1 | 15.4 | 22.1 | 2.2 | 19.7 | 19.3 | 28.0 | 1.4 | 4.9 | 45.4 | 7.3 | 11.8 | 2.4 | 1.4 | 3.0 |
| 50~59歳 | 100.0 (362) | 41.7 | 36.5 | 1.1 | 1.1 | 1.4 | 1.1 | 13.5 | 9.7 | 34.3 | 21.5 | 30.7 | - | 2.5 | 13.8 | 11.3 | 6.9 | 4.4 | 45.6 | 13.8 | 16.0 | 1.7 | 1.1 | 1.9 |
| 60~69歳 | 100.0 (363) | 33.1 | 24.2 | - | 0.3 | 0.8 | 1.7 | 12.1 | 10.5 | 22.9 | 30.3 | 26.7 | - | 0.6 | 6.6 | 0.3 | 8.8 | 1.4 | 15.2 | 6.6 | 9.6 | 4.7 | 1.4 | 3.6 |
| 70~79歳 | 100.0 (365) | 26.6 | 24.7 | 0.5 | - | 0.5 | 0.3 | 18.9 | 5.5 | 20.5 | 32.9 | 20.8 | - | 0.3 | 6.8 | 0.3 | 5.2 | - | 6.3 | 4.9 | 7.1 | 4.7 | 1.9 | 3.3 |
| 80歳以上 | 100.0 (135) | 19.3 | 21.5 | - | - | - | - | 12.6 | 4.4 | 11.1 | 57.0 | 13.3 | - | - | 5.9 | - | 2.2 | - | 0.7 | 2.2 | 8.1 | 7.4 | 3.7 | 2.2 |
| (再掲) 総数 65歳以上 | 100.0 (1,169) | 23.7 | 21.0 | 0.9 | - | 0.4 | 0.3 | 17.0 | 5.0 | 22.0 | 36.9 | 20.4 | - | 0.2 | 4.7 | 0.3 | 6.2 | 0.8 | 12.8 | 5.0 | 9.0 | 5.0 | 1.9 | 3.3 |
| 男 65歳以上 | 100.0 (451) | 19.3 | 19.5 | 1.8 | - | 0.4 | - | 18.8 | 2.7 | 26.6 | 36.1 | 20.4 | - | - | 2.4 | 0.4 | 7.1 | 1.3 | 22.2 | 4.9 | 10.9 | 4.9 | 1.3 | 3.1 |
| 女 65歳以上 | 100.0 (718) | 26.5 | 21.9 | 0.3 | - | 0.4 | 0.4 | 15.9 | 6.4 | 19.1 | 37.3 | 20.5 | - | 0.3 | 6.1 | 0.3 | 5.6 | 0.4 | 7.0 | 5.2 | 7.8 | 5.2 | 2.2 | 3.3 |

3 悩みやストレスの相談先[複数回答]

悩みやストレスがあると回答した人(4,127人)に悩みやストレスの相談先を聞いたところ、「家族」の割合が最も高く44.9%、次いで「友人・知人」40.5%であった。また、「相談する必要がないので、誰にも相談していない」が20.3%であった。(図Ⅱ-3-6 本文114p)

問 悩みやストレスを、どのように相談していますか。

図Ⅱ-3-6 悩みやストレスの相談先[複数回答]



4 睡眠時間の充足、よい睡眠のために実行していること[複数回答]、余暇の充実度

睡眠時間の充足について聞いたところ、「ほぼ足りている」の割合が41.3%で最も高く、「十分足りている」と合わせると66.2%であった。一方で、「やや不足している」と「まったく不足している」を合わせた割合は33.2%であった。

よい睡眠のために実行していることについて聞いたところ、「しっかり朝食を食べている」の割合が48.1%で最も高くなっている。一方で「特に何も行ってない」は19.7%であった。

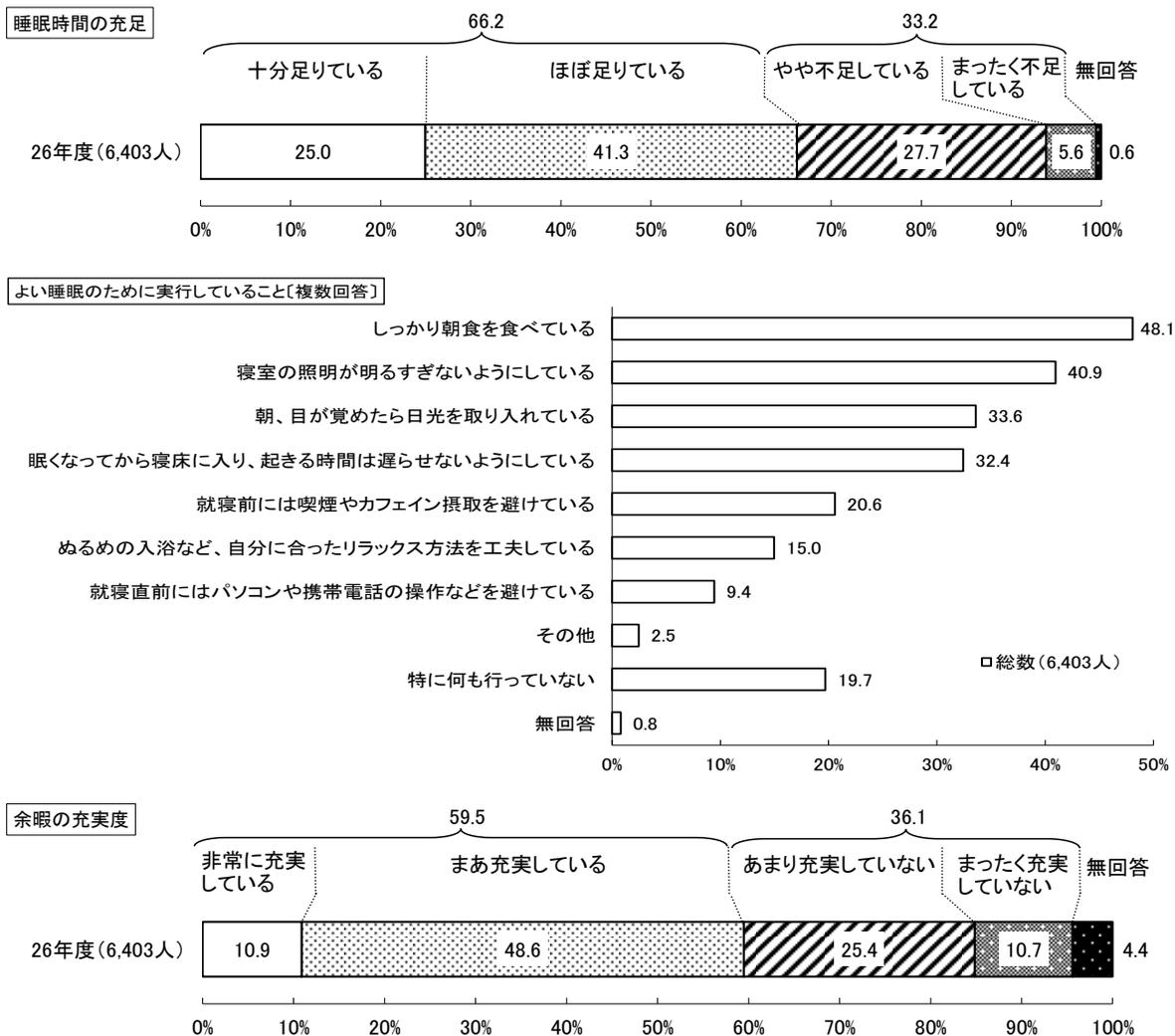
余暇の充実度について聞いたところ、「まあ充実している」の割合が48.6%と最も高く、「非常に充実している」と合わせると59.5%であった。一方で「あまり充実していない」と「まったく充実していない」を合わせた割合は36.1%であった。(図Ⅱ-3-7 本文117p)

問 あなたは、普段の睡眠時間は足りていますか。

問 より充実した睡眠のために、以下のような内容が推奨されています。あなたは、この内容を実行していますか。

問 あなたは、体を休めること以外に、趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動などの余暇の過ごし方は充実していますか。

図Ⅱ-3-7 睡眠時間の充足、よい睡眠のために実行していること[複数回答]、余暇の充実度



注) 統計比率を合算した比率(66.2%、33.2%)は、個々の数値を合算して求めているため、比率の内訳の合計とは一致しない。

(1) よい睡眠のために実行していること[複数回答]—性・年齢階級別

より充実した睡眠のために行っていることを性・年齢階級別にみると、男女とも「しっかり朝食を食べている」の割合が最も高く、男性 45.5%、女性 50.4%であった。一方で、「特に何も行ってない」人の割合は、20代～30代男性で3割以上となっている。(表Ⅱ-3-8 本文121p)

表Ⅱ-3-8 よい睡眠のために実行していること[複数回答]—性・年齢階級別

| | 総数 | よく起きている時間には遅く寝る | 眠くなってきたら寝床に入り、取り入れて寝る | 朝、目が覚めたら日光をしっかりと朝食を食べている | 就寝前には喉やカフェイン摂取を避けている | 工夫している | ぬるめの入浴など、自分に合ったリラックス方法を | 部屋の照明が明るすぎないようになっている | 就寝直前にはパソコンや携帯電話の操作などを避けている | その他 | 特に何も行ってない | 無回答 |
|--------|------------------|-----------------|-----------------------|--------------------------|----------------------|--------|-------------------------|----------------------|----------------------------|------|-----------|-----|
| 総数 | 100.0 (6,403) | 32.4 | 33.6 | 48.1 | 20.6 | 15.0 | 40.9 | 9.4 | 2.5 | 19.7 | 0.8 | |
| 男 | 100.0 (2,994) | 32.8 | 25.8 | 45.5 | 15.6 | 10.8 | 37.1 | 7.5 | 2.2 | 23.8 | 0.9 | |
| 20～29歳 | 100.0 (289) | 22.8 | 19.7 | 26.0 | 16.6 | 5.9 | 31.8 | 3.8 | 1.4 | 33.2 | 0.7 | |
| 30～39歳 | 100.0 (455) | 26.8 | 22.2 | 33.4 | 13.4 | 9.9 | 34.1 | 3.7 | 1.3 | 33.2 | 0.7 | |
| 40～49歳 | 100.0 (589) | 29.9 | 27.7 | 42.3 | 12.1 | 9.0 | 36.5 | 5.3 | 1.2 | 23.6 | 0.5 | |
| 50～59歳 | 100.0 (418) | 36.6 | 23.2 | 39.7 | 14.4 | 9.3 | 31.3 | 6.7 | 1.7 | 25.1 | 1.2 | |
| 60～69歳 | 100.0 (516) | 40.5 | 29.8 | 52.5 | 15.1 | 10.9 | 38.2 | 10.7 | 2.1 | 20.9 | 0.6 | |
| 70～79歳 | 100.0 (516) | 35.3 | 28.1 | 61.4 | 20.0 | 14.9 | 44.0 | 11.6 | 3.9 | 15.9 | 1.6 | |
| 80歳以上 | 100.0 (211) | 34.6 | 25.6 | 62.1 | 21.3 | 17.1 | 44.5 | 10.4 | 5.7 | 15.6 | 0.9 | |
| 女 | 100.0 (3,409) | 32.1 | 40.5 | 50.4 | 25.0 | 18.6 | 44.3 | 11.1 | 2.7 | 16.0 | 0.7 | |
| 20～29歳 | 100.0 (300) | 23.3 | 29.3 | 39.3 | 20.7 | 14.7 | 43.0 | 5.3 | 0.7 | 21.7 | 0.3 | |
| 30～39歳 | 100.0 (457) | 22.1 | 41.4 | 43.1 | 26.0 | 14.9 | 46.2 | 7.7 | 0.9 | 17.7 | - | |
| 40～49歳 | 100.0 (620) | 29.7 | 47.9 | 48.4 | 25.0 | 14.8 | 47.1 | 9.7 | 1.8 | 13.9 | - | |
| 50～59歳 | 100.0 (486) | 31.9 | 40.3 | 42.8 | 23.5 | 18.1 | 39.9 | 13.0 | 2.7 | 19.8 | 0.4 | |
| 60～69歳 | 100.0 (596) | 37.8 | 41.6 | 55.0 | 28.7 | 20.3 | 43.5 | 14.4 | 3.7 | 14.6 | 1.3 | |
| 70～79歳 | 100.0 (643) | 38.7 | 38.7 | 60.3 | 25.3 | 23.3 | 47.3 | 13.8 | 4.0 | 11.7 | 1.4 | |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 36.2 | 36.8 | 58.0 | 22.1 | 23.5 | 39.7 | 10.1 | 4.2 | 18.6 | 1.6 | |

第4章 健診・保健指導の状況

集計対象世帯 3,597 世帯の世帯員 (20 歳以上) 6,403 人のうち、40 歳以上 75 歳未満の 3,859 人が調査対象

1 過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無

過去1年間に、健診や人間ドックを「受けた」割合が 69.0%、「受けていない」が 27.4%となっている。(図Ⅱ-4-1 本文127p)

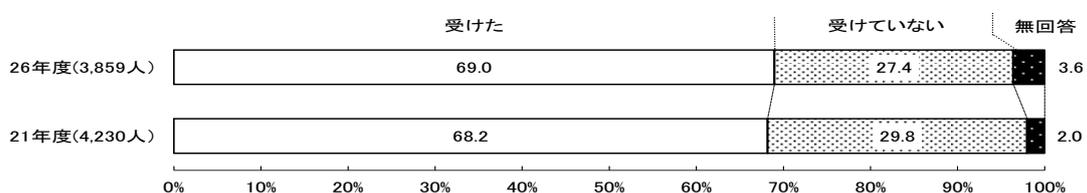
問 あなたは過去1年間に、健診(加入する医療保険者が実施する特定健康診査、職場の事業主が実施する定期健康診断)や人間ドックを受けましたか。

※ 特定健康診査

医療保険者は、40～74歳の加入者(被保険者及び被扶養者)に対し、特定健康診査(メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査)を行うものとされている。ただし、加入者が人間ドック等で特定健康診査に相当する検査を受け、その結果を証明する書面の提出があった場合は、特定健康診査を受けたものとみなされる。

また、加入者が、労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)その他の法令に基づき行われる特定健康診査に相当する健康診断を受けた場合又は受けることができる場合は、特定健康診査の全部又は一部を行ったものとするものとされている。

図Ⅱ-4-1 過去1年間の健診・人間ドックの受診の有無



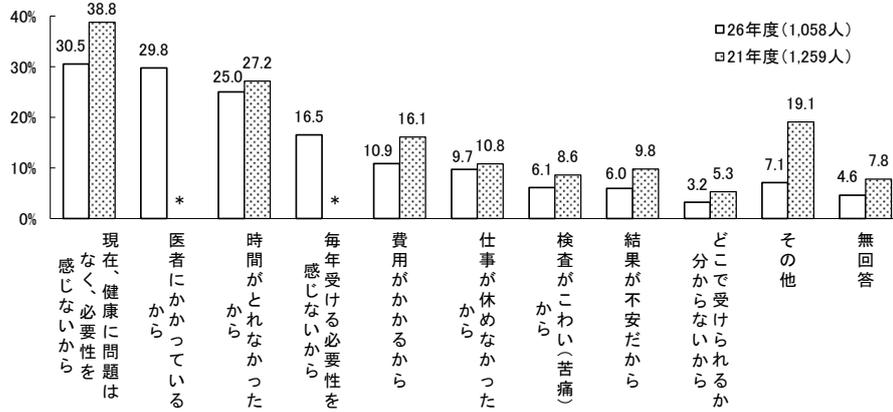
注) がん検診のみの受診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、含まない。

2 健診を受けなかった理由[複数回答]

過去1年間に、健診や人間ドックを受けていない人(1,058人)に受けなかった理由を聞いたところ、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が30.5%で最も高く、次いで、「医者にかかっているから」が29.8%、「時間がとれなかったから」が25.0%となっている。(図Ⅱ-4-20 本文146p)

問 健診を受けなかった理由は何ですか。

図Ⅱ-4-20 健診を受けなかった理由[複数回答]



注) *は21年度調査時に選択肢を設けなかったもの。

(1) 健診を受けなかった理由[複数回答]一性・年齢階級別

健診を受けなかった理由について、性・年齢階級別にみると、男女とも「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が最も高く、男性31.1%、女性30.2%となっている。一方、「医者にかかっているから」の割合も高く、男性31.1%、女性28.9%となっている。「仕事が休めなかったから」は、男性14.8%、女性6.3%で、男性の方が8.5ポイント高くなっている。(表Ⅱ-4-6 本文147p)

表Ⅱ-4-6 健診を受けなかった理由[複数回答]一性・年齢階級別

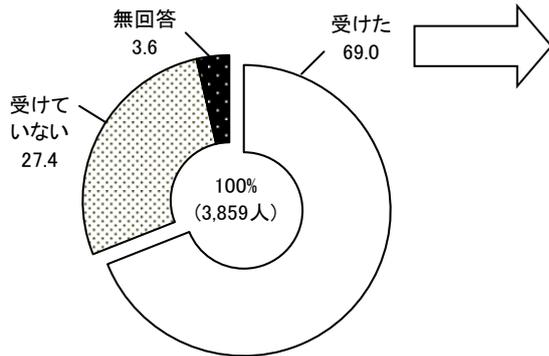
| | 総数 | 現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから | 毎年受ける必要性を感じないから | 医者にかかっているから | どこで受けられるか分から | 検査がこわい(苦痛)から | 時間がとれなかったから | 仕事が休めなかったから | 結果が不安だから | 費用がかかるから | その他 | 無回答 |
|--------|------------------|------------------------|-----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|----------|----------|------|------|
| 総数 | 100.0 (1,058) | 30.5 | 16.5 | 29.8 | 3.2 | 6.1 | 25.0 | 9.7 | 6.0 | 10.9 | 7.1 | 4.6 |
| 男 | 100.0 (425) | <u>31.1</u> | 14.6 | <u>31.1</u> | 3.3 | 4.7 | 24.9 | <u>14.8</u> | 5.9 | 11.1 | 6.8 | 4.9 |
| 40~49歳 | 100.0 (118) | 25.4 | 12.7 | 13.6 | 5.1 | 5.1 | 44.9 | 27.1 | 5.9 | 11.9 | 11.0 | 5.1 |
| 50~59歳 | 100.0 (76) | 34.2 | 14.5 | 23.7 | 3.9 | 3.9 | 32.9 | 27.6 | 7.9 | 18.4 | 2.6 | 7.9 |
| 60~69歳 | 100.0 (141) | 29.8 | 16.3 | 36.9 | 3.5 | 5.0 | 16.3 | 5.0 | 4.3 | 10.6 | 7.8 | 5.0 |
| 70~74歳 | 100.0 (90) | 37.8 | 14.4 | 51.1 | - | 4.4 | 5.6 | 3.3 | 6.7 | 4.4 | 3.3 | 2.2 |
| 女 | 100.0 (633) | <u>30.2</u> | 17.9 | <u>28.9</u> | 3.2 | 7.1 | 25.1 | <u>6.3</u> | 6.0 | 10.7 | 7.3 | 4.4 |
| 40~49歳 | 100.0 (193) | 28.0 | 13.0 | 12.4 | 6.2 | 9.3 | 40.4 | 10.4 | 7.3 | 14.0 | 8.3 | 3.6 |
| 50~59歳 | 100.0 (136) | 26.5 | 19.9 | 27.2 | 3.7 | 11.0 | 27.9 | 8.8 | 11.8 | 15.4 | 9.6 | 2.9 |
| 60~69歳 | 100.0 (193) | 33.7 | 22.3 | 38.9 | 1.0 | 5.7 | 18.1 | 3.6 | 3.1 | 7.3 | 5.7 | 1.6 |
| 70~74歳 | 100.0 (111) | 32.4 | 16.2 | 42.3 | 0.9 | 0.9 | 7.2 | 0.9 | 1.8 | 5.4 | 5.4 | 12.6 |

3 健診の種類、方法、時期

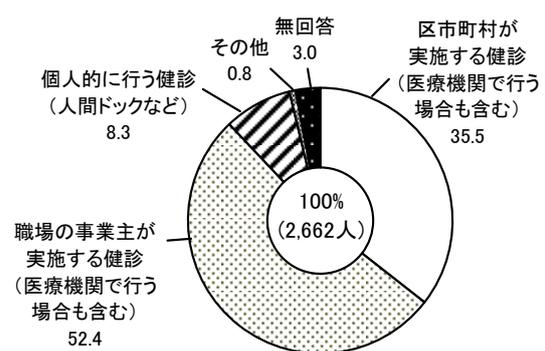
健診・人間ドックを受診した人（2,662人）に、健診等を受けた種類、方法、時期を聞いたところ、種類については、「職場の事業主が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」の割合が、52.4%、方法については、「個別健診（医療機関や健診機関等で個別に受ける健診）」の割合が55.0%、時期については、「平日昼間」の割合が90.6%と、それぞれ最も高くなっている。（図Ⅱ-4-4、図Ⅱ-4-5、図Ⅱ-4-6、図Ⅱ-4-7 本文131p）

問 健診を受けた方法、場所、時期などについて、あてはまるものを選んでください。

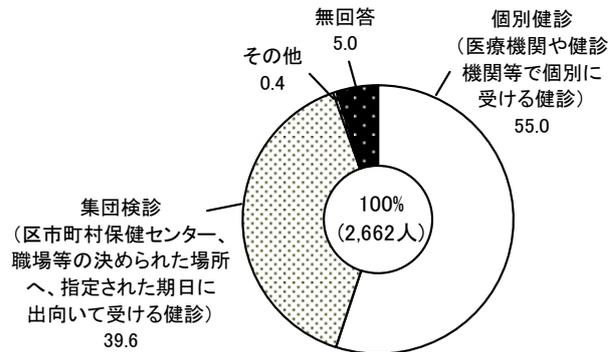
図Ⅱ-4-4 健診・人間ドックの受診の有無



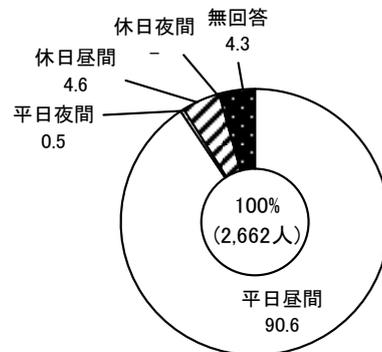
図Ⅱ-4-5 健診・人間ドックの種類



図Ⅱ-4-6 健診・人間ドックの方法



図Ⅱ-4-7 健診・人間ドックの時期



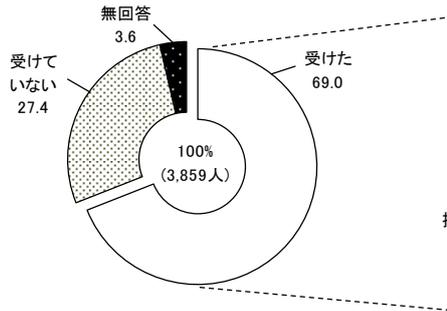
4 健診結果の指摘の有無とその内容[複数回答]

過去1年間に健診・人間ドックを受診したことがある人(2,662人)のうち、「肥満」「高血圧」「糖尿病」「血中の脂質異常(注)」のいずれかの指摘を受けた人は51.6%であった。(図Ⅱ-4-8、図Ⅱ-4-9 本文134p)

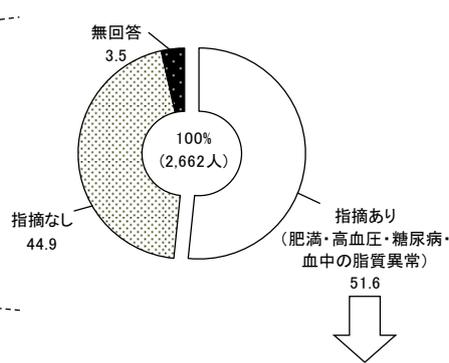
また、「指摘あり」と回答した人(1,374人)の指摘の内容をみると、「血中の脂質異常」の割合が最も高く59.3%、次いで「高血圧」が42.4%、「肥満」が28.6%と続いている。(図Ⅱ-4-10 本文134p)

問 健診の結果、次のような(肥満、高血圧症、糖尿病、血中の脂質異常)指摘を受けましたか。

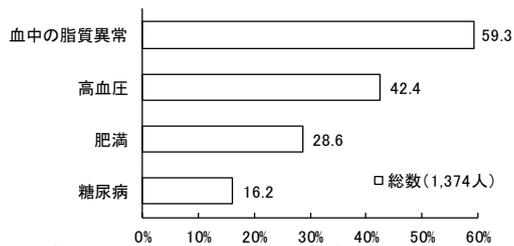
図Ⅱ-4-8 健診・人間ドックの受診の有無



図Ⅱ-4-9 健診結果の指摘の有無



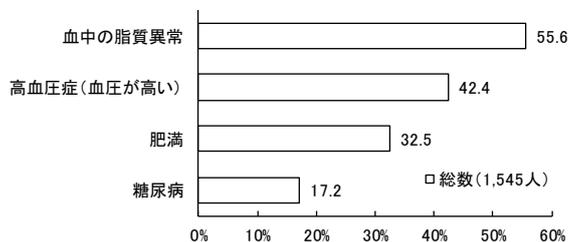
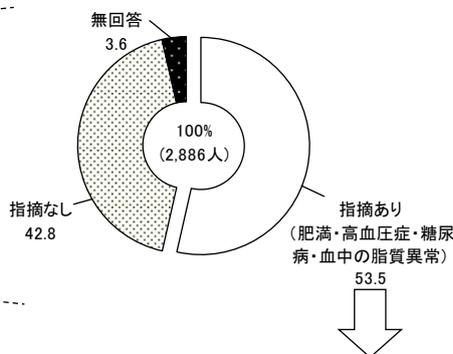
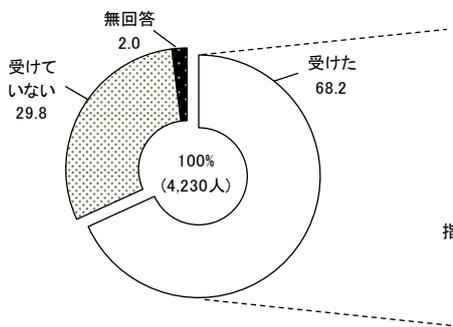
図Ⅱ-4-10 健診結果の指摘の内容[複数回答]



注) 血中の脂質異常とは次のいずれかを指す。

- ・総コレステロール、LDL (悪玉) コレステロールや中性脂肪 (トリグリセライド) が高い。
- ・HDL (善玉) コレステロールが低い。

21年度



5 特定保健指導の有無とその内容、実行の程度

健診・人間ドックの受診結果で「指摘あり」と回答した人（1,374人）に特定保健指導（注）を受けたかどうか聞いたところ、「受けた」と回答した人の割合は27.7%であった。一方で、「特定保健指導の案内はなかった」と回答した人の割合は、40.5%となっている。（図Ⅱ-4-11 本文138p）

「受けた」と回答した人（380人）にその指導内容を聞いたところ、「動機付け支援」の割合が56.6%と最も高くなっている。（図Ⅱ-4-12 本文138p）

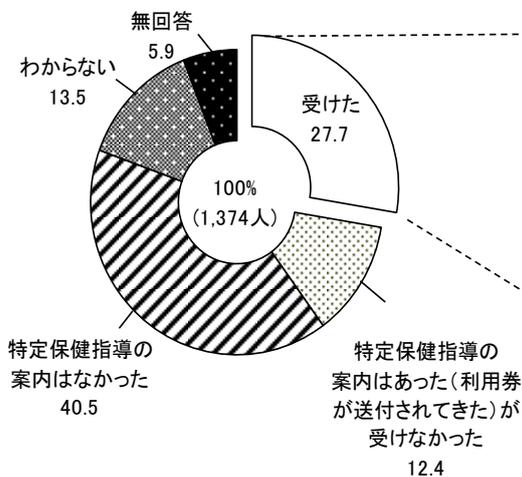
さらに、特定保健指導で計画した内容をどの程度実行しているか聞いたところ、「おおむね実行している」割合が46.1%、「一部実行している」が31.8%であった。（図Ⅱ-4-13 本文138p）

問 健康診断の結果、特定保健指導を受けましたか。

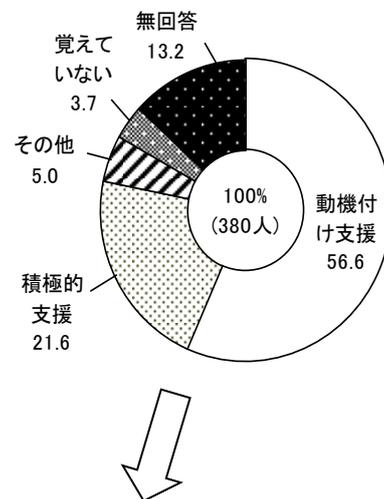
問 受けた特定保健指導は、どのようなものでしたか。

問 指導された内容についてどの程度実行していますか。

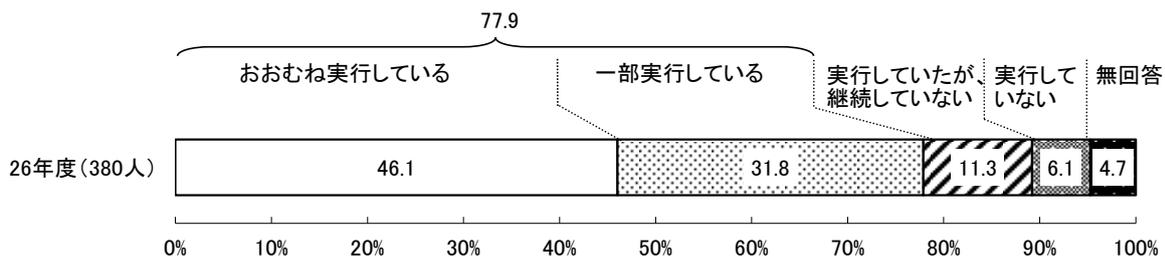
図Ⅱ-4-11 保健指導の有無



図Ⅱ-4-12 指導内容



図Ⅱ-4-13 実行の程度



注)

<対象者>

- 腹囲が男性 85 cm以上・女性 90 cm以上で、高血圧・高血糖・脂質異常の所見が1つ以上あった方
- 腹囲が男性 85 cm未満・女性 90 cm未満であるが、BMIが25以上で、高血圧・高血糖・脂質異常の所見が1つ以上あった方

<指導の種類>

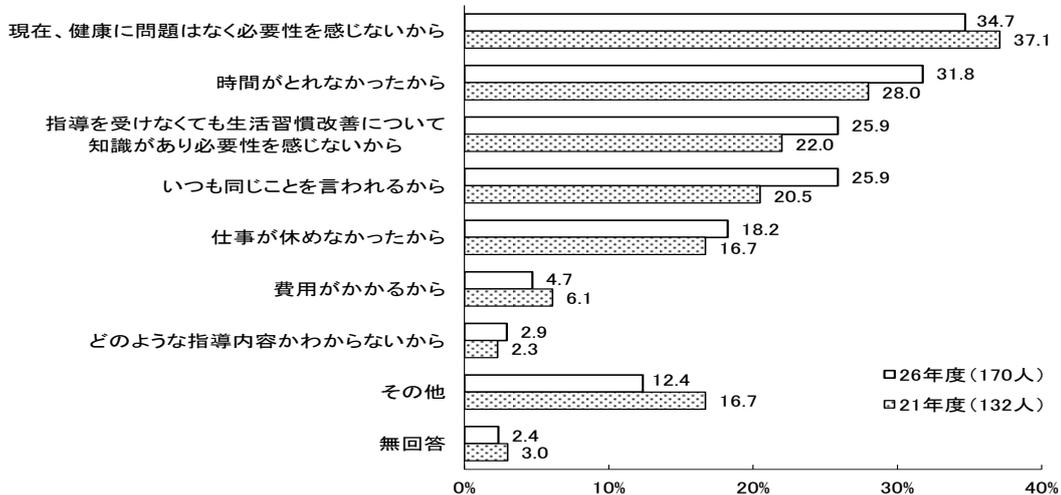
- 動機付け支援・・・原則1回の保健指導を受けます。
- 積極的支援・・・3～6か月の間、複数回、継続的に保健指導（面接・電話・メール等）を受けます。

6 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]

特定保健指導を受けなかった人(170人)にその理由を聞いたところ、「現在、健康に問題はなく必要性を感じないから」が、34.7%と最も高く、次いで「時間がとれなかったから」が31.8%となっている。(図Ⅱ-4-16 本文142p)

問 特定保健指導を受けなかった理由は何ですか。

図Ⅱ-4-16 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]



7 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無

健診・人間ドックの受診結果で「指摘あり」と回答した人(1,374人)に医療機関を受診するよう勧められたかどうか聞いたところ、「受診を勧められた」人の割合は36.9%であった。

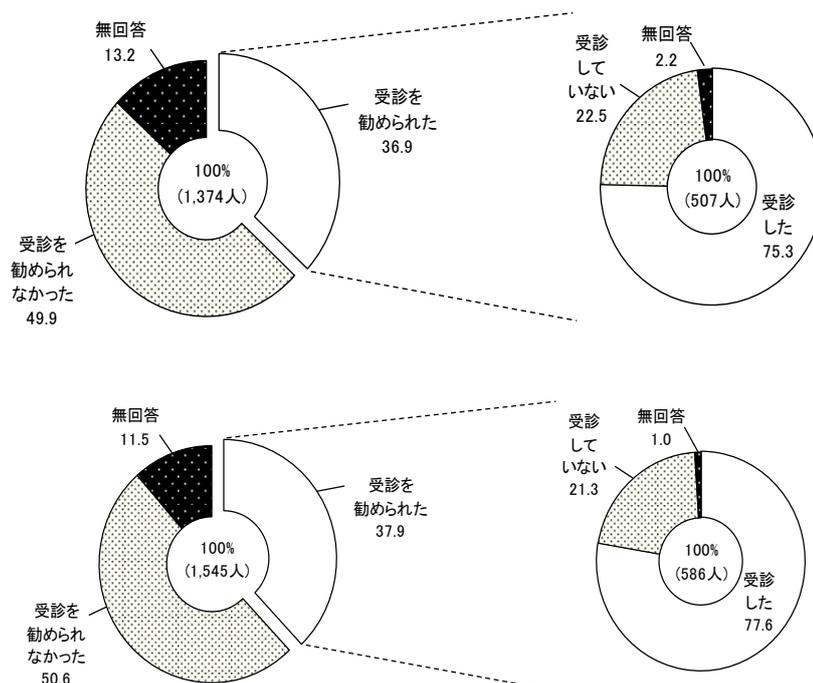
また、「受診を勧められた」人(507人)に、その後医療機関を受診したかどうか聞いたところ、75.3%が「受診した」と回答した。(図Ⅱ-4-17 本文143p)

問 医療機関を受診するように勧められましたか。

注) 検査目的の受診は除く。

問 その後、医療機関に行きましたか。

図Ⅱ-4-17 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無



第5章 がん検診の受診状況

1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

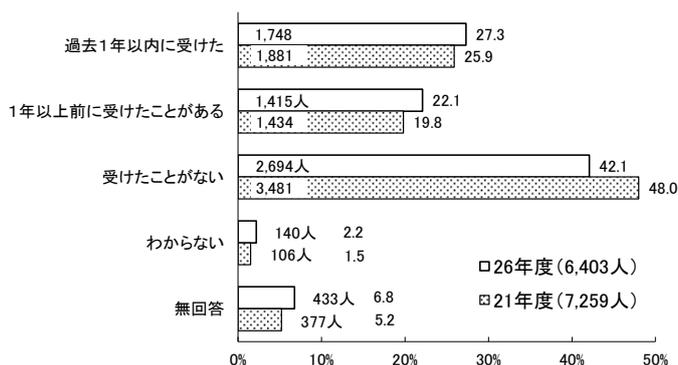
胃がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、27.3%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、42.1%であった。(図Ⅱ-5-1 本文149p)

胃がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(3,136人)に、検査方法を聞いたところ、「胃エックス線検査」が58.1%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-2 本文149p)

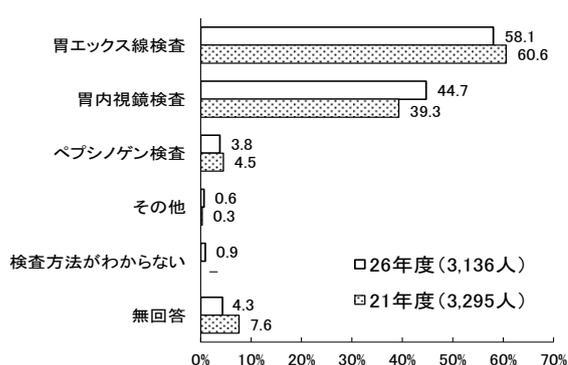
問 胃がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-2 胃がん検診の検査方法[複数回答]



(1) 胃がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

胃がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性30.4%、女性24.6%で、男性の方が5.8ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は32.3%で、男性36.6%、女性28.6%と、男性の方が8.0ポイント高くなっている。(表Ⅱ-5-1 本文150p)

表Ⅱ-5-1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

| | 総数 | 過去1年以内に受けた | 1年以上前に受けたことがある | 受けたことがない | わからない | 無回答 |
|---------------|------------------|------------|----------------|----------|-------|------|
| 総数 | 100.0 (6,403) | 27.3 | 22.1 | 42.1 | 2.2 | 6.8 |
| 男 | 100.0 (2,994) | 30.4 | 19.6 | 41.2 | 2.6 | 6.6 |
| 20～29歳 | 100.0 (289) | 1.4 | 1.4 | 84.4 | 3.5 | 9.3 |
| 30～39歳 | 100.0 (455) | 18.0 | 6.6 | 66.4 | 3.3 | 5.9 |
| 40～49歳 | 100.0 (589) | 40.1 | 14.4 | 37.5 | 3.4 | 5.4 |
| 50～59歳 | 100.0 (418) | 49.0 | 16.7 | 27.5 | 2.4 | 5.3 |
| 60～69歳 | 100.0 (516) | 35.3 | 26.6 | 31.0 | 1.7 | 5.8 |
| 70～79歳 | 100.0 (516) | 29.1 | 37.2 | 25.0 | 1.2 | 7.8 |
| 80歳以上 | 100.0 (211) | 24.2 | 32.7 | 29.9 | 4.3 | 9.0 |
| 女 | 100.0 (3,409) | 24.6 | 24.3 | 42.8 | 1.8 | 6.9 |
| 20～29歳 | 100.0 (300) | 3.0 | 2.3 | 84.3 | 2.3 | 8.0 |
| 30～39歳 | 100.0 (457) | 15.5 | 11.6 | 65.4 | 1.1 | 6.6 |
| 40～49歳 | 100.0 (620) | 35.2 | 23.9 | 35.8 | 1.5 | 4.7 |
| 50～59歳 | 100.0 (486) | 36.2 | 30.9 | 27.8 | 0.6 | 4.9 |
| 60～69歳 | 100.0 (596) | 27.9 | 31.9 | 33.6 | 0.7 | 6.2 |
| 70～79歳 | 100.0 (643) | 25.2 | 29.4 | 34.4 | 1.4 | 10.3 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 11.7 | 29.6 | 42.3 | 7.8 | 8.5 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (4,902) | 32.3 | 26.9 | 32.6 | 2.1 | 6.6 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,250) | 36.6 | 24.6 | 30.6 | 2.4 | 6.4 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,652) | 28.6 | 29.0 | 34.2 | 1.8 | 6.9 |
| 21年度 | 100.0 (7,259) | 25.9 | 19.8 | 48.0 | 1.5 | 5.2 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (5,195) | 32.0 | 24.9 | 37.1 | 1.4 | 4.9 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,435) | 36.3 | 21.7 | 36.8 | 1.3 | 4.3 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,760) | 28.3 | 27.7 | 37.4 | 1.4 | 5.4 |

<参考>

胃がん検診に関する国指針(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…胃部エックス線検査

対象者…40歳以上

受診間隔…年1回

2 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

大腸がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、30.5%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、44.2%であった。(図Ⅱ-5-3 本文153p)

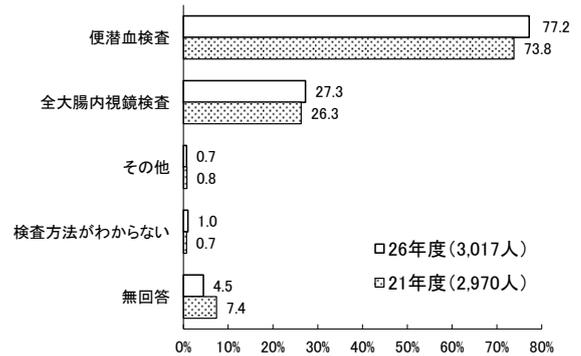
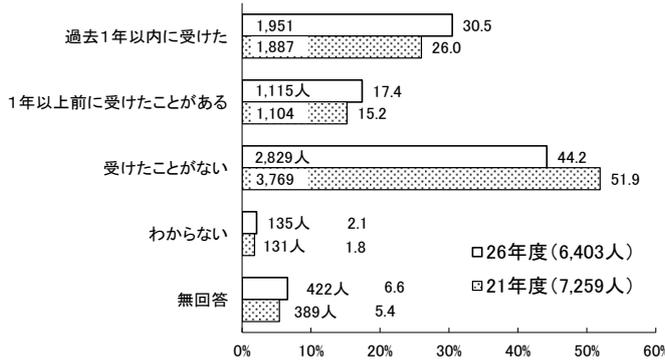
大腸がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(3,017人)に、検査方法を聞いたところ、「便潜血検査」が77.2%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-4 本文153p)

問 大腸がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

(注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-3 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]

図Ⅱ-5-4 大腸がん検診の検査方法[複数回答]



(1) 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

大腸がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性32.2%、女性28.9%で、男性の方が3.3ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は36.8%で、男性39.4%、女性34.7%と、男性の方が4.7ポイント高くなっている。21年度調査と比べて、「過去1年以内に受けた」人の割合は4.1ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は7.1ポイント減少した。(表Ⅱ-5-4 本文154p)

表Ⅱ-5-4 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

| | 総数 | 過去1年以内に受けた | 1年以上前に受けたことがある | 受けたことがない | わからない | 無回答 |
|---------------|------------------|------------|----------------|----------|-------|------|
| 総数 | 100.0 (6,403) | 30.5 | 17.4 | 44.2 | 2.1 | 6.6 |
| 男 | 100.0 (2,994) | 32.2 | 17.1 | 42.8 | 2.5 | 6.3 |
| 20～29歳 | 100.0 (289) | 2.1 | 0.7 | 83.7 | 3.8 | 9.7 |
| 30～39歳 | 100.0 (455) | 16.0 | 4.6 | 69.7 | 3.7 | 5.9 |
| 40～49歳 | 100.0 (589) | 40.2 | 16.6 | 36.3 | 3.1 | 4.6 |
| 50～59歳 | 100.0 (418) | 51.4 | 14.1 | 28.9 | 2.2 | 5.3 |
| 60～69歳 | 100.0 (516) | 37.0 | 23.3 | 33.9 | 1.6 | 5.2 |
| 70～79歳 | 100.0 (516) | 35.1 | 29.7 | 27.7 | 1.4 | 7.4 |
| 80歳以上 | 100.0 (211) | 29.4 | 28.0 | 32.2 | 2.4 | 9.0 |
| 女 | 100.0 (3,409) | 28.9 | 17.7 | 45.4 | 1.8 | 6.9 |
| 20～29歳 | 100.0 (300) | 3.3 | 1.3 | 83.3 | 3.3 | 8.7 |
| 30～39歳 | 100.0 (457) | 12.5 | 7.7 | 71.8 | 1.8 | 6.6 |
| 40～49歳 | 100.0 (620) | 37.1 | 18.7 | 38.7 | 1.3 | 5.0 |
| 50～59歳 | 100.0 (486) | 42.8 | 20.8 | 32.7 | - | 4.5 |
| 60～69歳 | 100.0 (596) | 37.1 | 21.5 | 35.1 | 0.5 | 6.5 |
| 70～79歳 | 100.0 (643) | 30.6 | 21.8 | 37.0 | 1.7 | 10.0 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 20.5 | 25.7 | 40.7 | 6.5 | 7.2 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (4,902) | 36.8 | 21.5 | 34.5 | 1.8 | 6.3 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,250) | 39.4 | 21.7 | 32.0 | 2.1 | 5.9 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,652) | 34.7 | 21.3 | 36.6 | 1.6 | 6.7 |
| 21年度 | 100.0 (7,259) | 26.0 | 15.2 | 51.9 | 1.8 | 5.4 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (5,195) | 32.7 | 19.3 | 41.6 | 1.7 | 5.0 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,435) | 35.7 | 17.9 | 40.9 | 1.6 | 4.4 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,760) | 30.0 | 20.6 | 42.3 | 1.8 | 5.6 |

＜参考＞

大腸がん検診に関する国指針
 (「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)
 検査方法…便潜血検査
 対象者…40歳以上
 受診間隔…年1回

3 肺がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

肺がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、34.4%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、45.9%であった。(図Ⅱ-5-5 本文 157p)

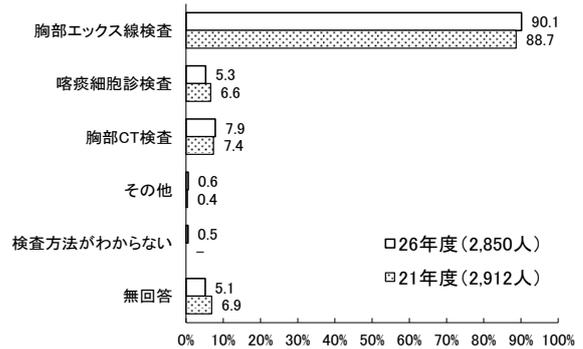
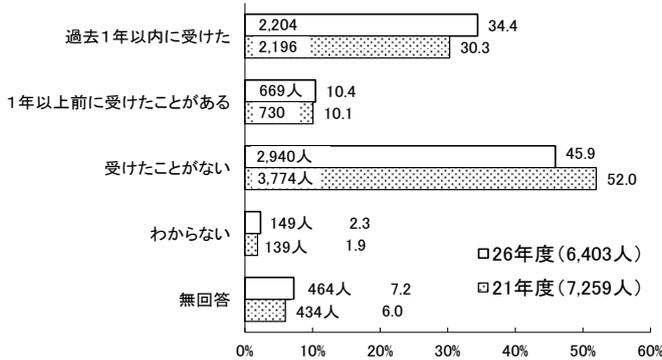
肺がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(2,850人)に、検査方法を聞いたところ、「胸部エックス線検査」が90.1%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-6 本文 157p)

問 肺がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-5 肺がん検診の受診の有無[複数回答]

図Ⅱ-5-6 肺がん検診の検査方法[複数回答]



(1) 肺がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

肺がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性38.3%、女性31.0%と、男性の方が7.3ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は40.2%で、男性45.2%、女性36.0%と、男性の方が9.2ポイント高くなっている。21年度調査と比べて、「過去1年以内に受けた」人の割合は4.0ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は5.7ポイント減少した。(表Ⅱ-5-7 本文 158p)

表Ⅱ-5-7 肺がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

| | 総数 | 過去1年以内に受けた | 1年以上前に受けたことがある | 受けたことがない | わからない | 無回答 |
|---------------|------------------|------------|----------------|----------|-------|------|
| 総数 | 100.0 (6,403) | 34.4 | 10.4 | 45.9 | 2.3 | 7.2 |
| 男 | 100.0 (2,994) | 38.3 | 9.6 | 42.4 | 2.8 | 7.2 |
| 20～29歳 | 100.0 (289) | 7.6 | 2.1 | 76.5 | 4.5 | 9.3 |
| 30～39歳 | 100.0 (455) | 23.7 | 3.5 | 63.1 | 3.7 | 5.9 |
| 40～49歳 | 100.0 (589) | 46.3 | 7.8 | 37.0 | 3.1 | 5.9 |
| 50～59歳 | 100.0 (418) | 58.4 | 9.1 | 24.9 | 2.6 | 5.5 |
| 60～69歳 | 100.0 (516) | 44.0 | 12.6 | 35.9 | 1.9 | 6.0 |
| 70～79歳 | 100.0 (516) | 39.5 | 15.9 | 33.9 | 2.1 | 9.1 |
| 80歳以上 | 100.0 (211) | 33.2 | 16.6 | 37.4 | 2.4 | 11.8 |
| 女 | 100.0 (3,409) | 31.0 | 11.2 | 49.0 | 1.9 | 7.3 |
| 20～29歳 | 100.0 (300) | 7.7 | 1.7 | 81.0 | 1.7 | 8.0 |
| 30～39歳 | 100.0 (457) | 17.3 | 6.6 | 68.5 | 1.5 | 6.3 |
| 40～49歳 | 100.0 (620) | 40.3 | 13.2 | 40.2 | 1.5 | 5.2 |
| 50～59歳 | 100.0 (486) | 47.3 | 13.8 | 33.7 | 0.4 | 5.1 |
| 60～69歳 | 100.0 (596) | 35.6 | 15.1 | 42.1 | 1.2 | 6.7 |
| 70～79歳 | 100.0 (643) | 30.0 | 12.3 | 45.7 | 1.1 | 11.0 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 22.5 | 9.1 | 51.1 | 8.8 | 9.1 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (4,902) | 40.2 | 12.5 | 38.3 | 2.2 | 7.3 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,250) | 45.2 | 11.8 | 33.8 | 2.4 | 7.2 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,652) | 36.0 | 13.0 | 42.0 | 2.0 | 7.4 |
| 21年度 | 100.0 (7,259) | 30.3 | 10.1 | 52.0 | 1.9 | 6.0 |
| (再掲) 総数 40歳以上 | 100.0 (5,195) | 36.2 | 12.3 | 44.0 | 1.9 | 5.9 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,435) | 40.8 | 11.3 | 41.3 | 1.8 | 5.0 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,760) | 32.1 | 13.2 | 46.3 | 2.0 | 6.6 |

<参考>

肺がん検診に関する国指針
 (「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法・・・胸部エックス線検査及び喀痰細胞診(医師が必要と認めた者)

対象者・・・40歳以上

受診間隔・・・年1回

4 乳がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

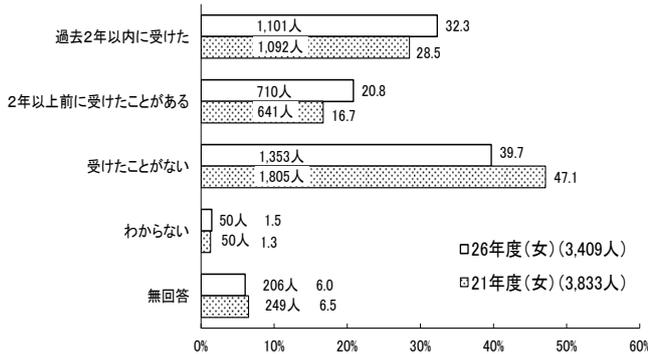
女性で乳がん検診を「過去2年以内に受けた」人の割合は、32.3%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、39.7%であった。(図Ⅱ-5-7 本文161p)

乳がん検診を「過去2年以内に受けた」と「2年以上前に受けたことがある」と回答した人(1,800人)に、検査方法を聞いたところ、「マンモグラフィ検査」が70.1%で最も高く、次いで「視触診検査」が58.5%、「乳房超音波(エコー)検査」が42.8%であった。(図Ⅱ-5-8 本文161p)

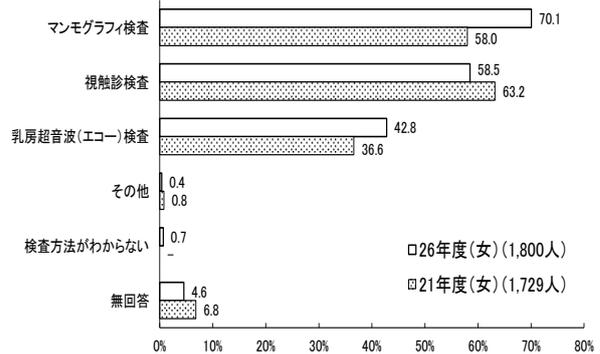
問 乳がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。(女性のみ)

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-7 乳がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-8 乳がん検診の検査方法[複数回答]



(1) 乳がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

乳がん検診の受診の有無について、年齢階級別にみると、「過去2年以内に受けた」人の割合は、50代が最も高く55.3%、次いで40代が54.0%となっている。

40歳以上で「過去2年以内に受けた」人の割合は34.2%で、21年度調査と比べて、「過去2年以内に受けた」人の割合は3.3ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は6.4ポイント減少した。(表Ⅱ-5-10 本文162p)

表Ⅱ-5-10 乳がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

| | 総数 | 過去2年以内に受けた | 2年以上前に受けた | 受けたことがない | わからない | 無回答 |
|------------|---------------|------------|-----------|----------|-------|------|
| 総数(女) | 100.0 (3,409) | 32.3 | 20.8 | 39.7 | 1.5 | 6.0 |
| 20~29歳 | 100.0 (300) | 9.0 | 6.3 | 74.3 | 2.7 | 8.0 |
| 30~39歳 | 100.0 (457) | 36.5 | 13.8 | 44.9 | 0.7 | 4.4 |
| 40~49歳 | 100.0 (620) | 54.0 | 21.3 | 22.4 | 0.6 | 2.6 |
| 50~59歳 | 100.0 (486) | 55.3 | 20.6 | 21.4 | - | 2.9 |
| 60~69歳 | 100.0 (596) | 29.2 | 33.2 | 32.2 | 0.3 | 5.4 |
| 70~79歳 | 100.0 (643) | 16.8 | 24.4 | 46.0 | 1.9 | 10.9 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 6.8 | 13.4 | 63.2 | 6.8 | 9.8 |
| (再掲) 40歳以上 | 100.0 (2,652) | 34.2 | 23.7 | 34.9 | 1.5 | 6.1 |
| 21年度(女) | 100.0 (3,833) | 28.5 | 16.7 | 47.1 | 1.3 | 6.5 |
| (再掲) 40歳以上 | 100.0 (2,760) | 30.9 | 20.4 | 41.3 | 1.4 | 6.2 |

<参考>

乳がん検診に関する国指針
 (「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)
 検査方法…マンモグラフィ及び視触診
 対象者…40歳以上の女性
 受診間隔…2年に1回

5 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

女性で子宮頸がん検診を「過去2年以内に受けた」人の割合は、33.2%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、37.6%であった。(図Ⅱ-5-9 本文 166p)

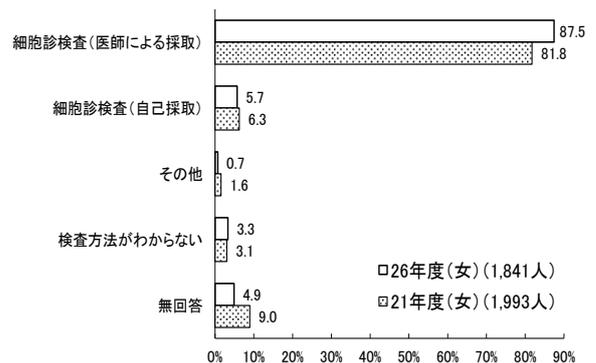
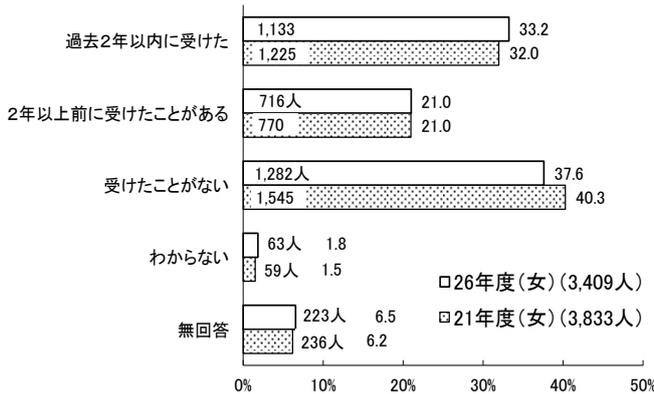
子宮頸がん検診を「過去2年以内に受けた」と「2年以上前に受けたことがある」と回答した人(1,841人)に、検査方法を聞いたところ、「細胞診検査(医師による採取)」が87.5%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-10 本文 166p)

問 子宮頸がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。(女性のみ)

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-9 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]

図Ⅱ-5-10 子宮頸がん検診の検査方法[複数回答]



(1) 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

子宮頸がん検診の受診の有無について、年齢階級別にみると、「過去2年以内に受けた」人の割合は、30代が最も高く57.5%、次いで40代の52.6%と、いずれも5割を超えている。(表Ⅱ-5-14 本文 167p)

表Ⅱ-5-14 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

| | 総数 | 過去2年以内に受けた | 2年以上前に受けた | 受けたことがない | わからない | 無回答 |
|---------|------------------|-------------|-----------|----------|-------|------|
| 総数(女) | 100.0 (3,409) | 33.2 | 21.0 | 37.6 | 1.8 | 6.5 |
| 20~29歳 | 100.0 (300) | 26.7 | 6.3 | 58.7 | 2.7 | 5.7 |
| 30~39歳 | 100.0 (457) | <u>57.5</u> | 16.0 | 22.3 | 0.9 | 3.5 |
| 40~49歳 | 100.0 (620) | <u>52.6</u> | 23.7 | 20.0 | 1.1 | 3.1 |
| 50~59歳 | 100.0 (486) | 44.9 | 25.5 | 24.9 | 0.2 | 4.7 |
| 60~69歳 | 100.0 (596) | 23.7 | 30.7 | 38.9 | 0.7 | 6.5 |
| 70~79歳 | 100.0 (643) | 14.3 | 21.2 | 50.7 | 2.0 | 11.8 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 4.2 | 11.1 | 65.5 | 8.5 | 10.7 |
| 21年度(女) | 100.0 (3,833) | 32.0 | 20.1 | 40.3 | 1.5 | 6.2 |

<参考>

子宮頸がん検診に関する国指針(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法・・・視診、子宮頸部の細胞診(医師による採取)及び内診

対象者・・・20歳以上の女性

受診間隔・・・2年に1回

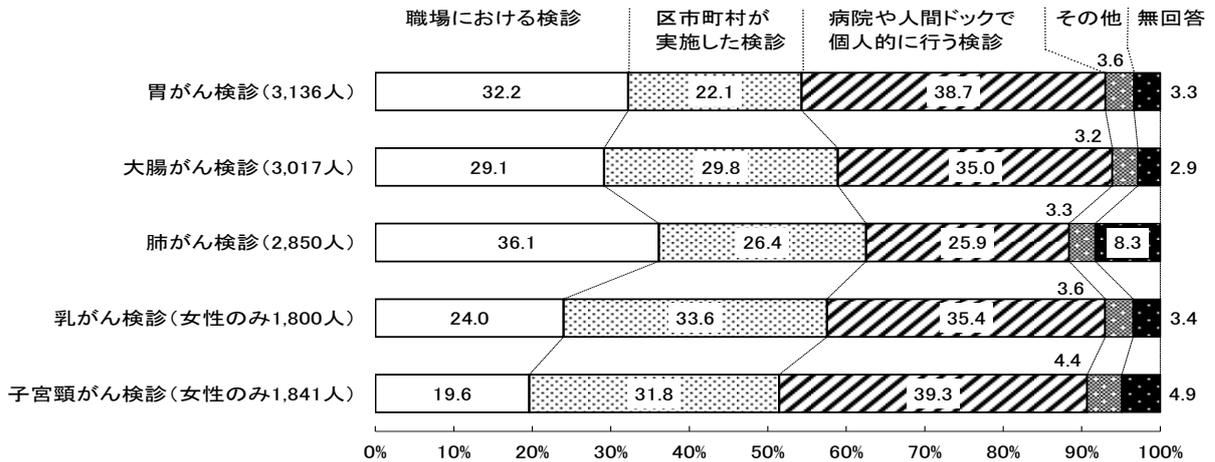
注) 「子宮頸がん検診」は、21年度調査では「子宮がん検診」としていた。

6 がん検診の受診場所

それぞれのがん検診の受診者に、受診した場所を聞いたところ、肺がんを除くすべてのがん検診で「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が高くなっている。肺がん検診は「職場における検診」を受けた人の割合が36.1%と最も高くなっている。(図Ⅱ-5-11 本文170p)

問 がん検診をどこで受けましたか。

図Ⅱ-5-11 がん検診の受診場所

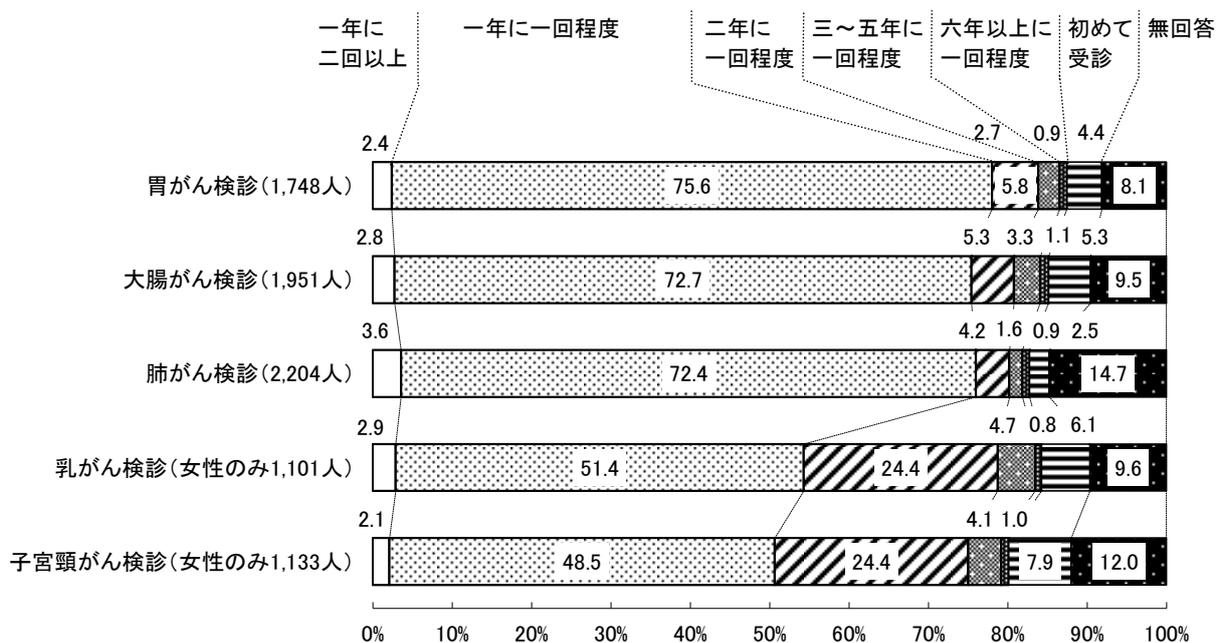


7 がん検診の継続受診の状況

過去1年以内に胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診を受けた人及び過去2年以内に乳がん検診(女性のみ)、子宮頸がん検診(女性のみ)を受けた人に、過去の受診状況を聞いたところ、すべてのがん検診で「1年に1回程度」の割合が高くなっている。(図Ⅱ-5-17 本文181p)

問 過去1年以内に受診した検診について、過去の受診状況を教えてください。

図Ⅱ-5-17 がん検診の継続受診の状況

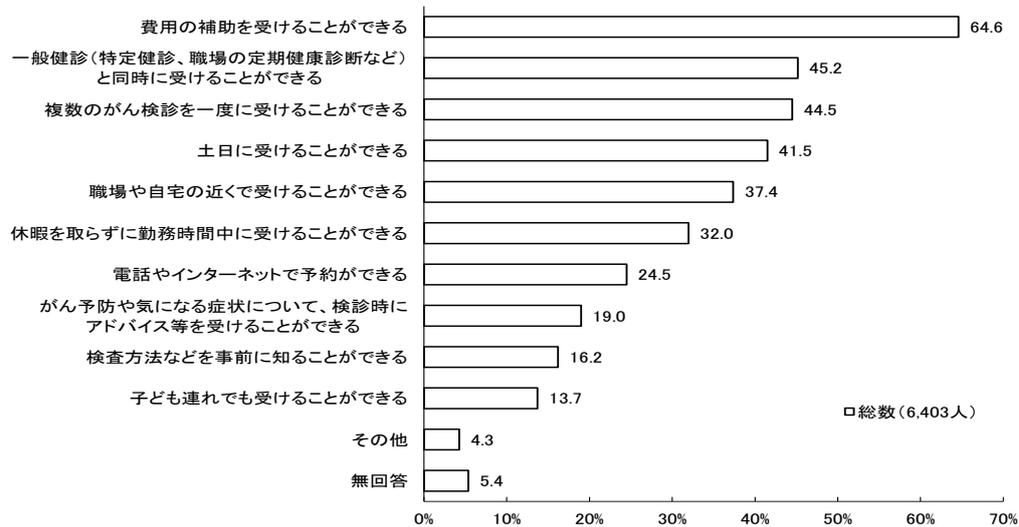


8 がん検診受診の条件[複数回答]

どのような環境が整えば、がん検診を受診する人が増えると思うか聞いたところ、「費用の補助を受けることができる」の割合が最も高く 64.6%、次いで、「一般健診（特定健診、職場の定期健康診断など）と同時に受けることができる」が 45.2%、「複数のがん検診を一度に受けることができる」が 44.5%であった。（図Ⅱ-5-18 本文 187p）

問 どのような環境が整えば、がん検診を受診する人が増えると思いますか。

図Ⅱ-5-18 がん検診受診の条件[複数回答]



(1) がん検診受診の条件[複数回答]一性・年齢階級別

がん検診受診の条件について、性・年齢階級別にみると、男女とも、「費用の補助を受けることができる」の割合が最も高く、63.9%、65.2%となっている。

また、「子ども連れでも受けることができる」の割合は、女性 18.0%、男性 8.9%で女性の方が9.1ポイント高く、特に20代～40代女性の割合が高くなっている。（表Ⅱ-5-27 本文 188p）

表Ⅱ-5-27 がん検診受診の条件[複数回答]一性・年齢階級別

| | 総 数 | が電話やインターネットで予約 できる | 費用の補助を受けることができる | 休暇を取らずに勤務時間中に 受けることができる | 子ども連れでも受けることができる | 職場や自宅の近くで受ける ことができる | 土日に受けることができる | がん予防や気になる症状について、 検診時にアドバイス等を受ける ことができる | 検査方法などを事前に知る ことができる | 複数のがん検診を一度に 受けることができる | 一般健診（特定健診、職場の 定期健康診断など）と同時に 受けることができる | その他 | 無 回 答 |
|----------|------------------|-----------------------|-----------------|----------------------------|------------------|------------------------|--------------|--|------------------------|--------------------------|---|------|-------------|
| 総数 | 100.0 (6,403) | 24.5 | 64.6 | 32.0 | 13.7 | 37.4 | 41.5 | 19.0 | 16.2 | 44.5 | 45.2 | 4.3 | 5.4 |
| 男 | 100.0 (2,994) | 24.7 | 63.9 | 34.9 | 8.9 | 37.4 | 40.1 | 17.3 | 14.2 | 41.0 | 43.6 | 3.7 | 5.2 |
| 20～29歳 | 100.0 (289) | 38.8 | 65.1 | 49.1 | 12.1 | 38.1 | 44.6 | 15.2 | 19.7 | 35.3 | 34.6 | 4.5 | 7.3 |
| 30～39歳 | 100.0 (455) | 29.2 | 71.4 | 51.6 | 16.0 | 41.8 | 50.3 | 11.4 | 13.8 | 35.4 | 46.4 | 2.0 | 4.0 |
| 40～49歳 | 100.0 (589) | 27.0 | 67.9 | 45.7 | 10.9 | 45.7 | 55.0 | 15.6 | 14.1 | 47.7 | 45.7 | 3.9 | 1.9 |
| 50～59歳 | 100.0 (418) | 25.6 | 63.9 | 44.5 | 5.5 | 43.8 | 50.7 | 17.2 | 13.4 | 47.4 | 46.2 | 2.9 | 3.8 |
| 60～69歳 | 100.0 (516) | 17.8 | 67.4 | 26.0 | 6.8 | 35.1 | 34.1 | 18.2 | 12.8 | 42.6 | 46.1 | 4.8 | 3.9 |
| 70～79歳 | 100.0 (518) | 19.4 | 56.2 | 10.5 | 4.3 | 24.6 | 18.4 | 20.5 | 12.8 | 38.4 | 43.2 | 2.7 | 8.1 |
| 80歳以上 | 100.0 (211) | 18.0 | 44.5 | 12.3 | 6.2 | 28.4 | 17.5 | 28.0 | 16.1 | 32.7 | 34.1 | 7.6 | 13.3 |
| 女 | 100.0 (3,409) | 24.3 | 65.2 | 29.4 | 18.0 | 37.3 | 42.7 | 20.4 | 18.0 | 47.6 | 46.5 | 4.7 | 5.5 |
| 20～29歳 | 100.0 (300) | 36.0 | 76.3 | 51.0 | 24.3 | 50.7 | 58.0 | 14.3 | 22.7 | 44.0 | 47.0 | 1.7 | 5.3 |
| 30～39歳 | 100.0 (457) | 35.2 | 78.8 | 44.9 | 40.0 | 44.6 | 64.1 | 19.7 | 18.4 | 53.8 | 50.3 | 3.1 | 3.5 |
| 40～49歳 | 100.0 (620) | 28.9 | 71.1 | 40.3 | 24.4 | 45.8 | 57.1 | 19.5 | 16.5 | 59.0 | 51.8 | 3.7 | 1.8 |
| 50～59歳 | 100.0 (486) | 25.9 | 74.5 | 38.5 | 17.3 | 45.9 | 57.2 | 19.8 | 18.7 | 60.5 | 51.0 | 4.1 | 1.9 |
| 60～69歳 | 100.0 (596) | 20.1 | 61.7 | 15.9 | 7.9 | 32.0 | 29.9 | 22.0 | 19.3 | 47.8 | 46.0 | 4.5 | 3.9 |
| 70～79歳 | 100.0 (643) | 15.7 | 54.7 | 12.4 | 8.2 | 24.4 | 20.5 | 25.5 | 18.4 | 35.3 | 40.6 | 4.8 | 10.7 |
| 80歳以上 | 100.0 (307) | 10.4 | 36.2 | 10.4 | 7.5 | 20.2 | 15.0 | 16.9 | 11.1 | 23.1 | 36.2 | 13.4 | 14.0 |
| (再掲) | 100.0 | 21.5 | 61.9 | 26.8 | 10.5 | 35.4 | 37.4 | 20.1 | 15.6 | 45.1 | 45.1 | 4.7 | 5.5 |
| 総数 40歳以上 | 100.0 (4,902) | 22.0 | 62.2 | 29.7 | 7.0 | 36.4 | 37.5 | 18.8 | 13.6 | 42.9 | 44.2 | 4.0 | 5.2 |
| 男 40歳以上 | 100.0 (2,250) | 21.0 | 61.6 | 24.3 | 13.5 | 34.6 | 37.3 | 21.3 | 17.3 | 46.9 | 45.8 | 5.4 | 5.8 |
| 女 40歳以上 | 100.0 (2,652) | | | | | | | | | | | | |

第6章 肝炎ウイルス検査の状況

1 肝炎ウイルス検査の認知度と受診の有無

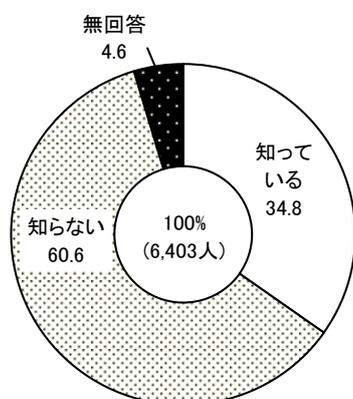
区市町村や保健所で、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスへの感染の有無を調べる肝炎ウイルス検査が行われていることを知っているか聞いたところ、「知っている」割合が34.8%、「知らない」が60.6%であった。(図Ⅱ-6-1 本文189p)

また、以下の項目ごとに肝炎ウイルス検査を受けたことがあるか聞いたところ、「手術前の検査・妊娠出産時の検査・内視鏡検査前」に受けたことがある割合が最も高く8.1%であった。(図Ⅱ-6-2 本文189p)

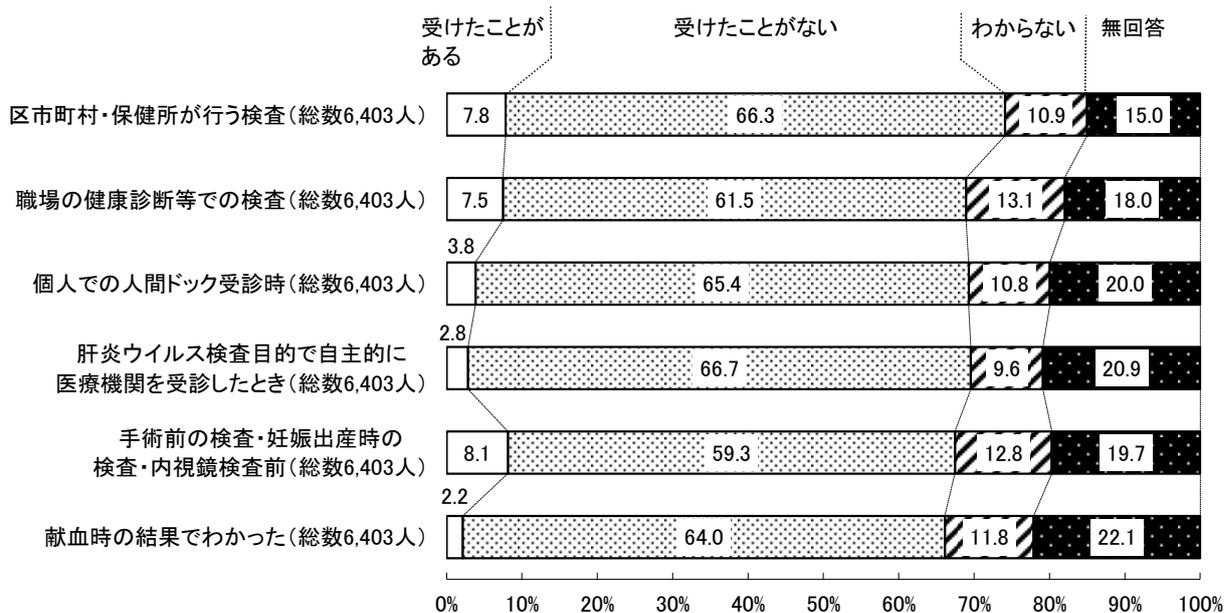
問 あなたは、区市町村や保健所で肝炎ウイルス検査が行われていることを知っていますか。

問 あなたは、肝炎ウイルスの感染に関する検査を受けたことがありますか。以下の項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。

図Ⅱ-6-1 肝炎ウイルス検査の認知度



図Ⅱ-6-2 肝炎ウイルス検査の受診の有無



<参考>

上記のいずれかの項目で肝炎ウイルス検査を受けたことがあると回答した割合は、26.3%となっている。

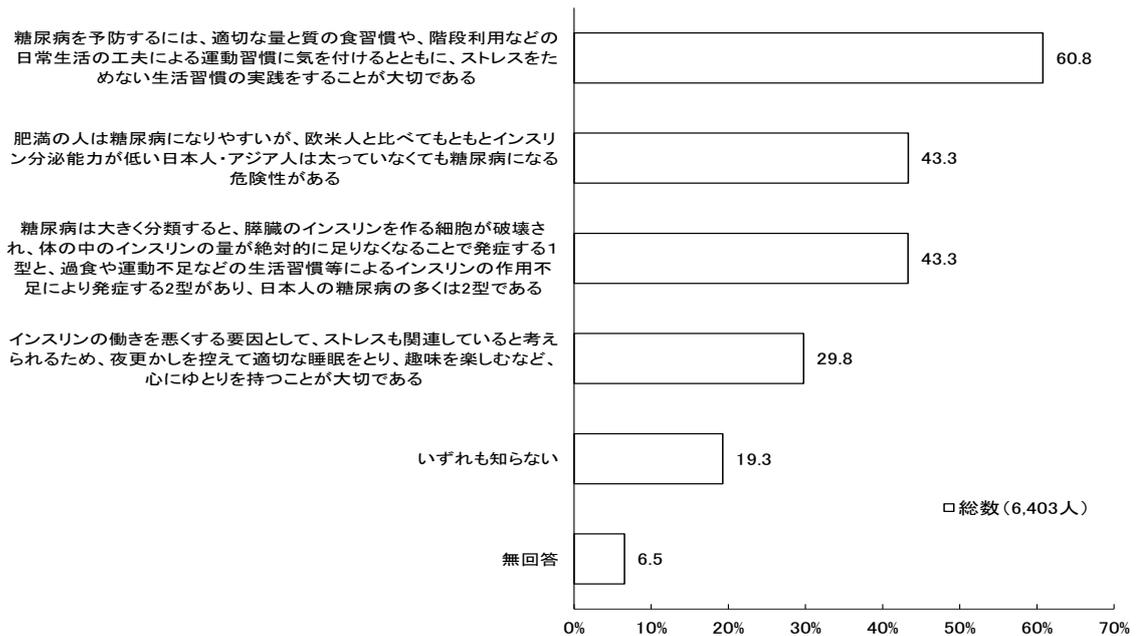
第7章 糖尿病

1 生活習慣改善による発症予防について知っていること[複数回答]

生活習慣の改善による発症予防について、以下のようなことを知っているか聞いたところ、知っている割合で最も高いのは「糖尿病を予防するには、適切な量と質の食習慣や、階段利用などの日常生活の工夫による運動習慣に気を付けるとともに、ストレスをためない生活習慣の実践をすることが大切である」で60.8%となっている。(図Ⅱ-7-1 本文193p)

問 糖尿病は、生活習慣の改善による発症予防が大切ですが、あなたは、以下の内容を知っていましたか。

図Ⅱ-7-1 生活習慣改善による発症予防について知っていること[複数回答]

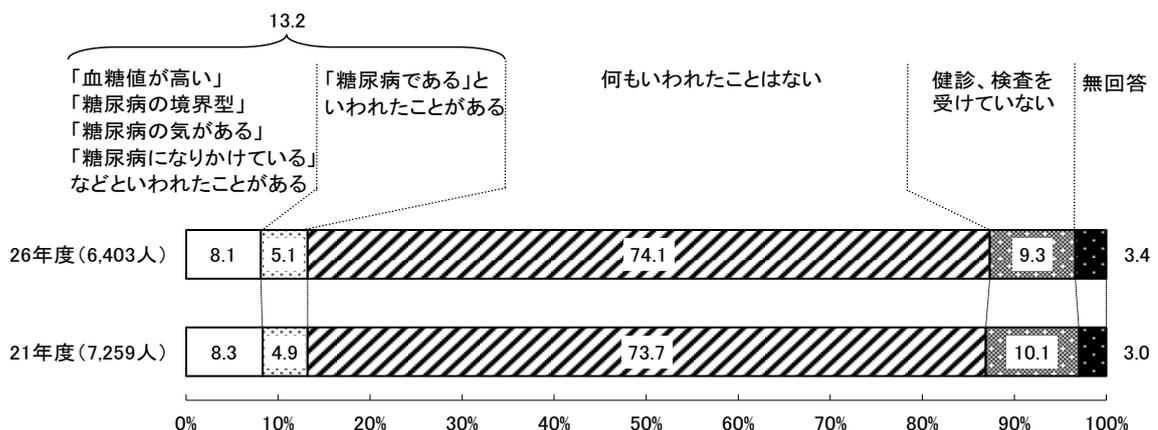


2 糖尿病り患状況

健診等の結果、糖尿病といわれたことがあるか聞いたところ、「『血糖値が高い』『糖尿病の境界型』『糖尿病の気がする』『糖尿病になりかけている』などといわれたことがある」割合が8.1%、「『糖尿病である』といわれたことがある」が5.1%であった。それ以外は「何もいわれたことはない」が大部分を占めており74.1%となっている。(図Ⅱ-7-2 本文195p)

問 あなたは、健診等の検査の結果、糖尿病といわれたことがありますか。

図Ⅱ-7-2 糖尿病り患状況

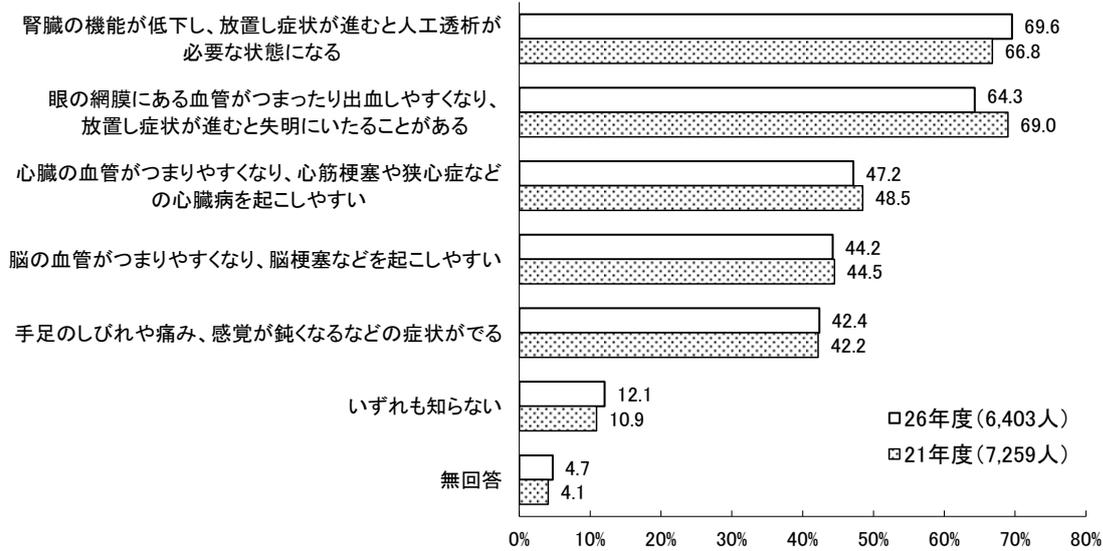


3 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]

糖尿病が悪化することで、以下のような状態になることを知っているか聞いたところ、「腎臓の機能が低下し、放置し症状が進むと人工透析が必要な状態になる」の割合が69.6%で最も高く、次いで、「眼の網膜にある血管がつまったり出血しやすくなり、放置し症状が進むと失明にいたることがある」が64.3%となっている。(図Ⅱ-7-7 本文200p)

問 糖尿病が悪化することで、次のような状態になることをご存知ですか。

図Ⅱ-7-7 糖尿病の悪化で起こる状態の認知度[複数回答]



第8章 結核

1 胸のレントゲン検査の受診の有無と受診しなかった理由[複数回答]

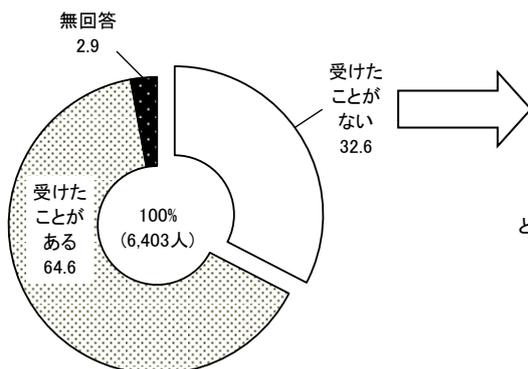
この1年以内に胸のレントゲン検査を受けたことがあるか聞いたところ、「受けたことがある」の割合が64.6%、「受けたことがない」が32.6%であった。(図Ⅱ-8-1 本文203p)

「受けたことがない」人(2,086人)に受診しなかった理由を聞いたところ、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が最も高く50.1%、次いで「受ける機会がないから」が31.4%と続いた。(図Ⅱ-8-2 本文203p)

問 あなたは、この1年以内に胸のレントゲン検査を受けたことがありますか。

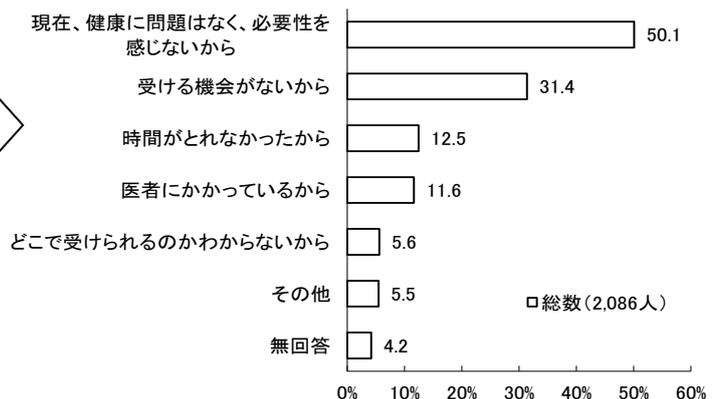
問 胸のレントゲン検査を受けなかったのはなぜですか。

図Ⅱ-8-1 胸のレントゲン検査受診の有無



図Ⅱ-8-2 胸のレントゲン検査を

受診しなかった理由〔複数回答〕



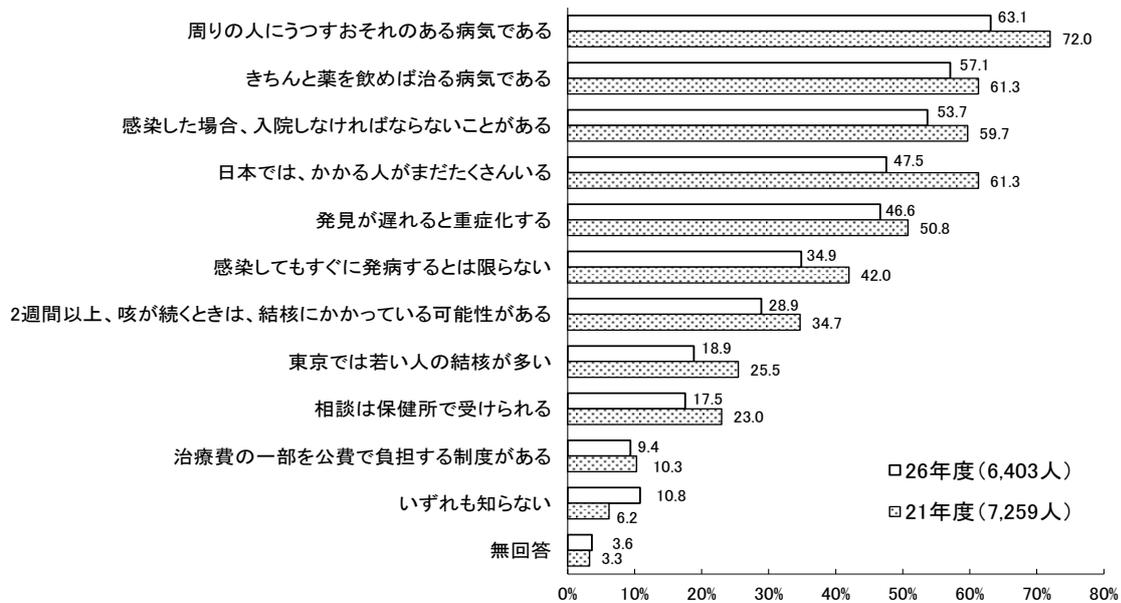
2 結核に関する知識の認知度[複数回答]

結核について、以下のようなことを知っているか聞いたところ、知っている割合で最も高いのは「周りの人にうつすおそれのある病気である」で63.1%、次いで「きちんと薬を飲めば治る病気である」が57.1%、「感染した場合、入院しなければならないことがある」が53.7%と続いた。

(図Ⅱ-8-4 本文 207p)

問 あなたは、結核について次のようなことをご存知ですか。

図Ⅱ-8-4 結核に関する知識の認知度[複数回答]



第9章 医療機関の受診状況

1 過去1年間の医療機関の受診の有無と受診した傷病名[複数回答]

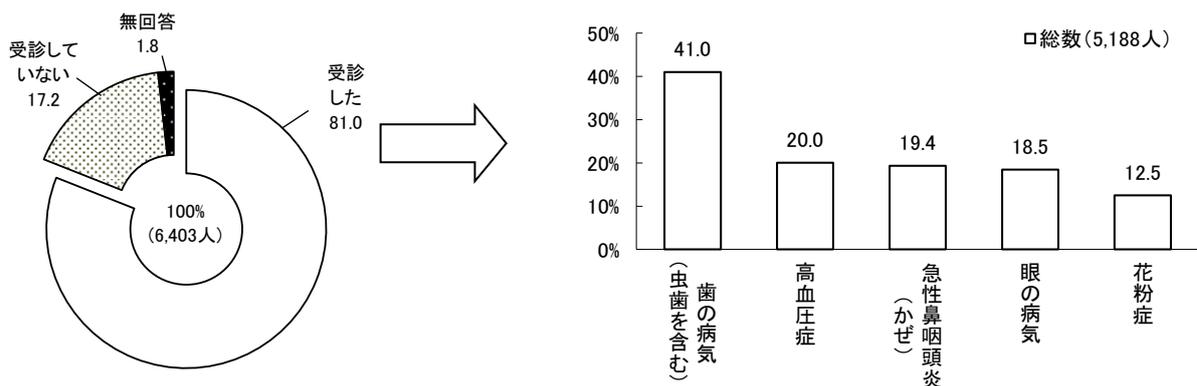
この1年間に病院や診療所を受診したか聞いたところ、「受診した」割合は81.0%、「受診していない」は17.2%であった。(図Ⅱ-9-1 本文 211p)

また「受診した」人に傷病名を聞いたところ、「歯の病気(虫歯を含む)」が最も高く41.0%、次いで「高血圧症」20.0%、「急性鼻咽頭炎(かぜ)」19.4%、「眼の病気」18.5%、「花粉症」12.5%と続いている。(図Ⅱ-9-2 本文 211p)

問 この1年間に病院や診療所を受診しましたか。

問 どのような傷病で受診しましたか。

図Ⅱ-9-1 過去1年間の医療機関の受診の有無 図Ⅱ-9-2 受診した傷病名[複数回答](上位5つ)

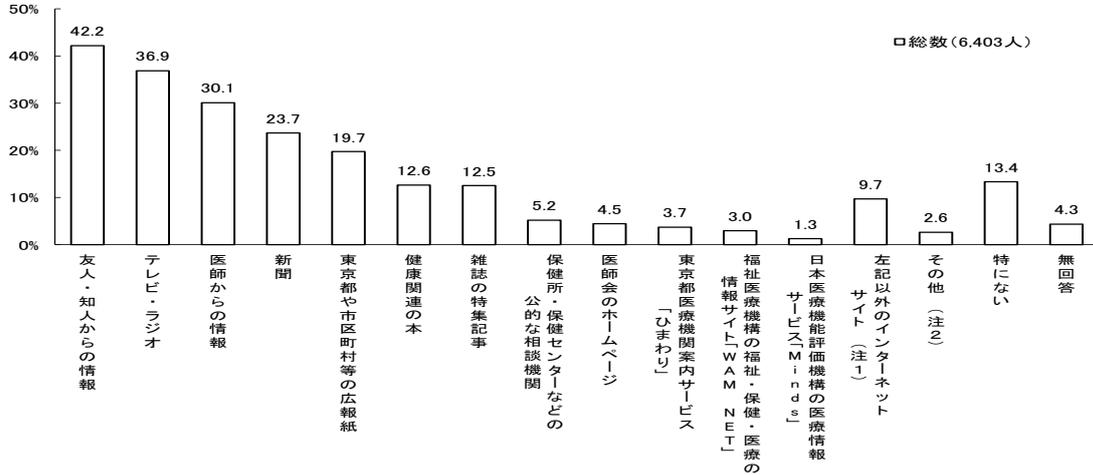


2 医療情報の入手方法[複数回答]

医療情報をどのように入手しているか聞いたところ、「友人・知人からの情報」の割合が最も高く42.2%、次いで「テレビ・ラジオ」が36.9%と続いている。また、「東京都や市区町村等の広報紙」も19.7%と2割近い割合となっている。(図Ⅱ-9-3 本文220p)

問 医療情報はどのようにして入手していますか。

図Ⅱ-9-3 医療情報の入手方法[複数回答]



注1 「左記以外のインターネットサイト」の意見(計622件)としてあげられた主なものは、インターネットの検索サイト

(グーグル・ヤフーなど)(216件)、その他のインターネットサイト(51件)、ロコミサイト・病院関係サイト(84件)

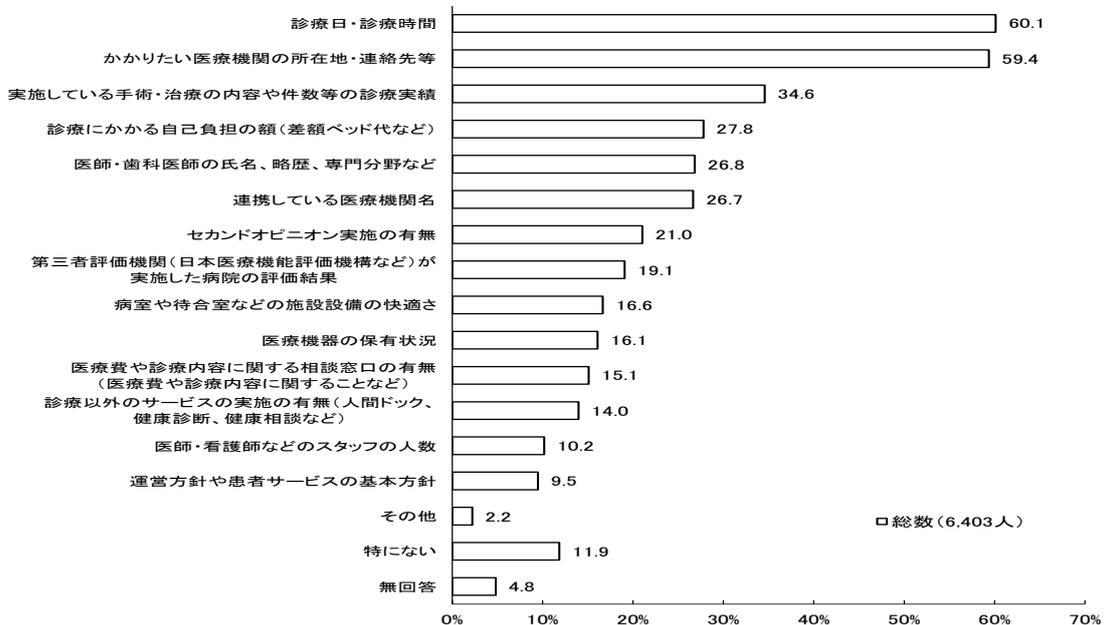
注2 その他の意見(計168件)としてあげられた主なものは、家族(57件)、会社(25件)

3 医療機関を選ぶために欲しい医療情報[複数回答]

病院や診療所などの医療機関を選ぶために欲しい情報はどのような情報か聞いたところ、「診療日・診療時間」の割合が最も高く60.1%、次いで「かかりたい医療機関の所在地・連絡先等」が59.4%、「実施している手術・治療の内容や件数等の診療実績」が34.6%であった。(図Ⅱ-9-5 本文224p)

問 あなたが病院や診療所などの医療機関を選ぶために欲しい情報はどのような情報ですか。

図Ⅱ-9-5 医療機関を選ぶために欲しい情報[複数回答]



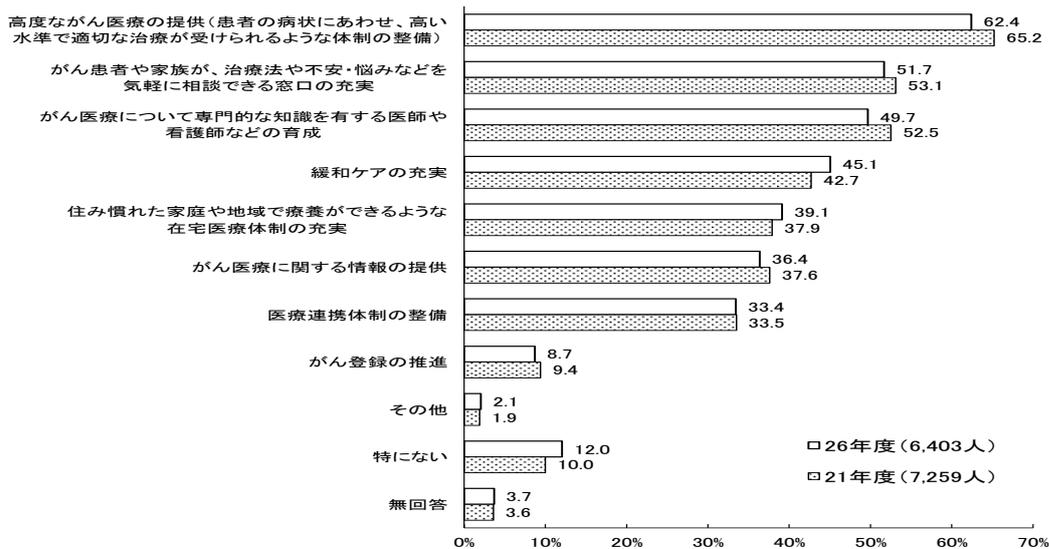
第10章 がん医療・在宅療養・リハビリテーション医療・在宅医療

1 がん医療対策に望むこと〔複数回答〕

がん医療対策について、どういったことに力を入れてほしいと思うか聞いたところ、「高度ながん医療の提供（患者の病状にあわせ、高い水準で適切な治療が受けられるような体制の整備）」の割合が最も高く62.4%、次いで「がん患者や家族が、治療法や不安・悩みなどを気軽に相談できる窓口の充実」が51.7%、「がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などの育成」の割合が49.7%と続いている。（図Ⅱ-10-1 本文227p）

問 がん医療対策について、どういったことに力を入れてほしいと思いますか。

図Ⅱ-10-1 がん医療対策に望むこと〔複数回答〕

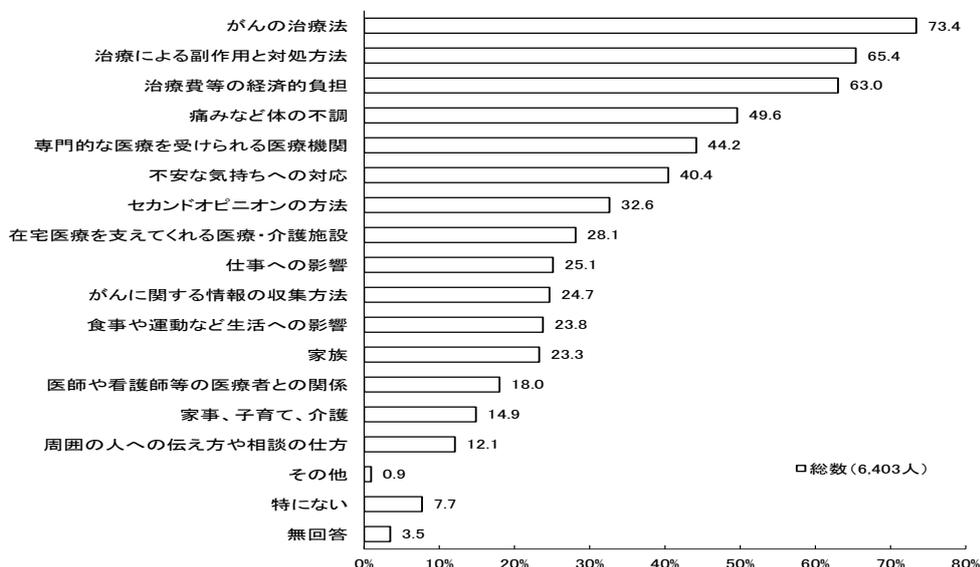


2 がんに関する相談内容〔複数回答〕

もしも、がんと診断された場合、専門の相談窓口へ相談したいと思うものについて聞いたところ、「がんの治療法」の割合が最も高く73.4%、次いで「治療による副作用と対処方法」が65.4%、「治療費等の経済的負担」が63.0%と続いている。（図Ⅱ-10-2 本文229p）

問 もしも、御自身ががんと診断された場合、専門の相談窓口へ相談したいと思うものはどのようなものですか。

図Ⅱ-10-2 がんに関する相談内容〔複数回答〕



3 在宅療養の理想とその実現可能性

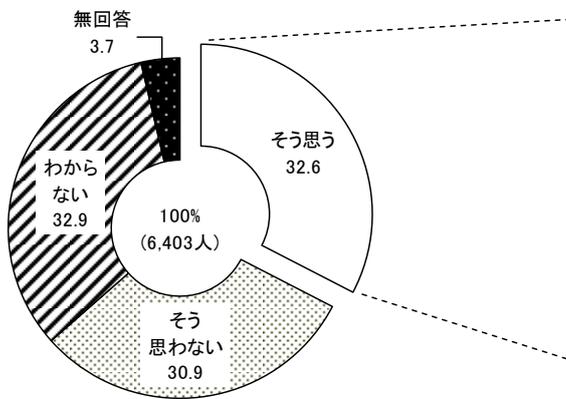
脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、理想として自宅で療養を続けたいか聞いたところ、「そう思う」の割合が32.6%、「そう思わない」が30.9%、「わからない」が32.9%であった。(図Ⅱ-10-3 本文 231p)

また、「そう思う」と答えた人(2,089人)に、実現可能だと思うか聞いたところ、「実現可能だと思う」割合が23.0%、「実現は難しいと思う」が58.4%、「わからない」が17.2%であった。(図Ⅱ-10-4 本文 231p)

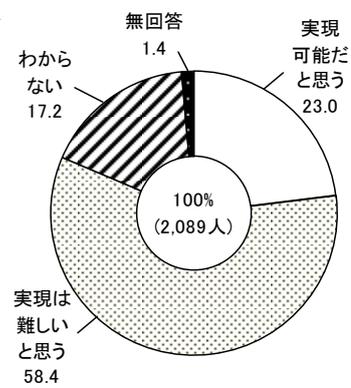
問 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、理想として自宅で療養を続けたいと思いますか。

問 ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。

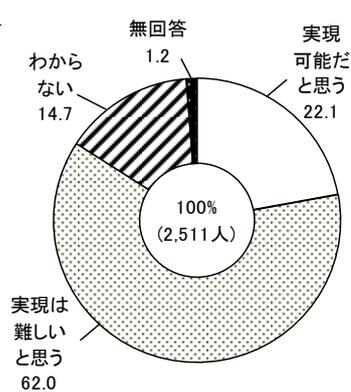
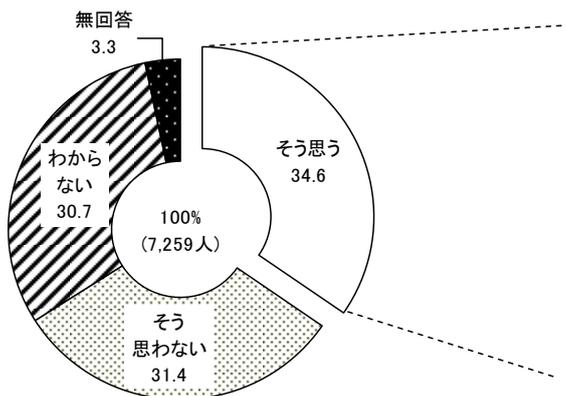
図Ⅱ-10-3 在宅療養の理想



図Ⅱ-10-4 在宅療養の実現可能性



21年度

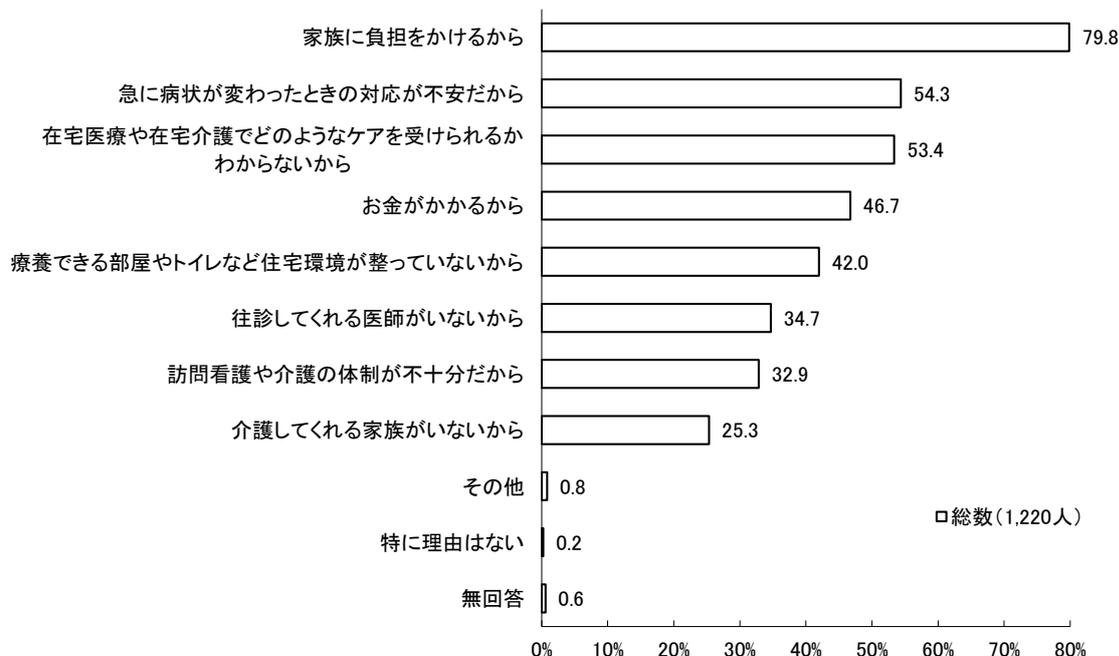


4 在宅療養の実現が難しいと思う理由[複数回答]

在宅療養の実現は難しいと思う人(1,220人)にその理由を聞いたところ、「家族に負担をかけるから」の割合が最も高く79.8%、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が54.3%、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」が53.4%となっている。(図Ⅱ-10-7 本文234p)

問 実現は難しいと思うのは、なぜですか。

図Ⅱ-10-7 在宅療養の実現が難しいと思う理由[複数回答]

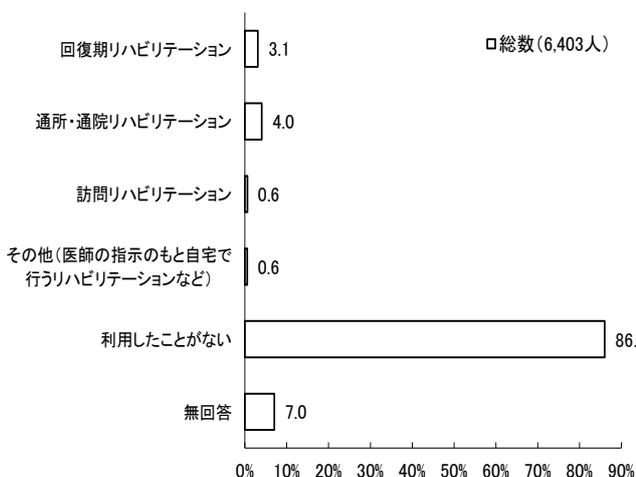


5 リハビリテーション又は在宅医療の利用[複数回答]

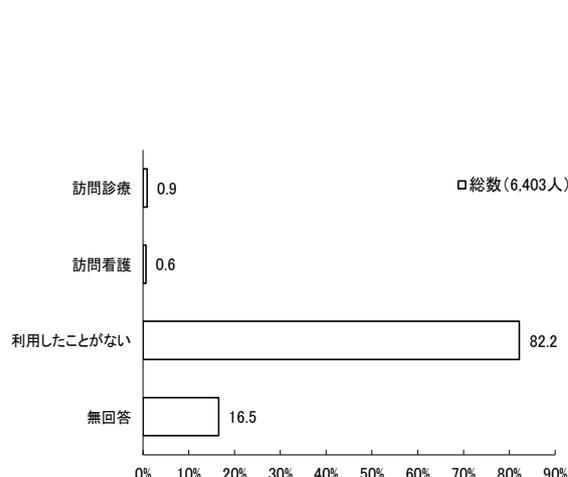
リハビリテーション又は在宅医療の利用について聞いたところ、「利用したことがない」の割合が最も高く、それぞれ86.0%、82.2%となっている。(図Ⅱ-10-9、図Ⅱ-10-10 本文237p)

問 あなたは、リハビリテーション又は在宅医療を利用したことがありますか。

図Ⅱ-10-9 リハビリテーションの利用[複数回答]



図Ⅱ-10-10 在宅医療の利用[複数回答]



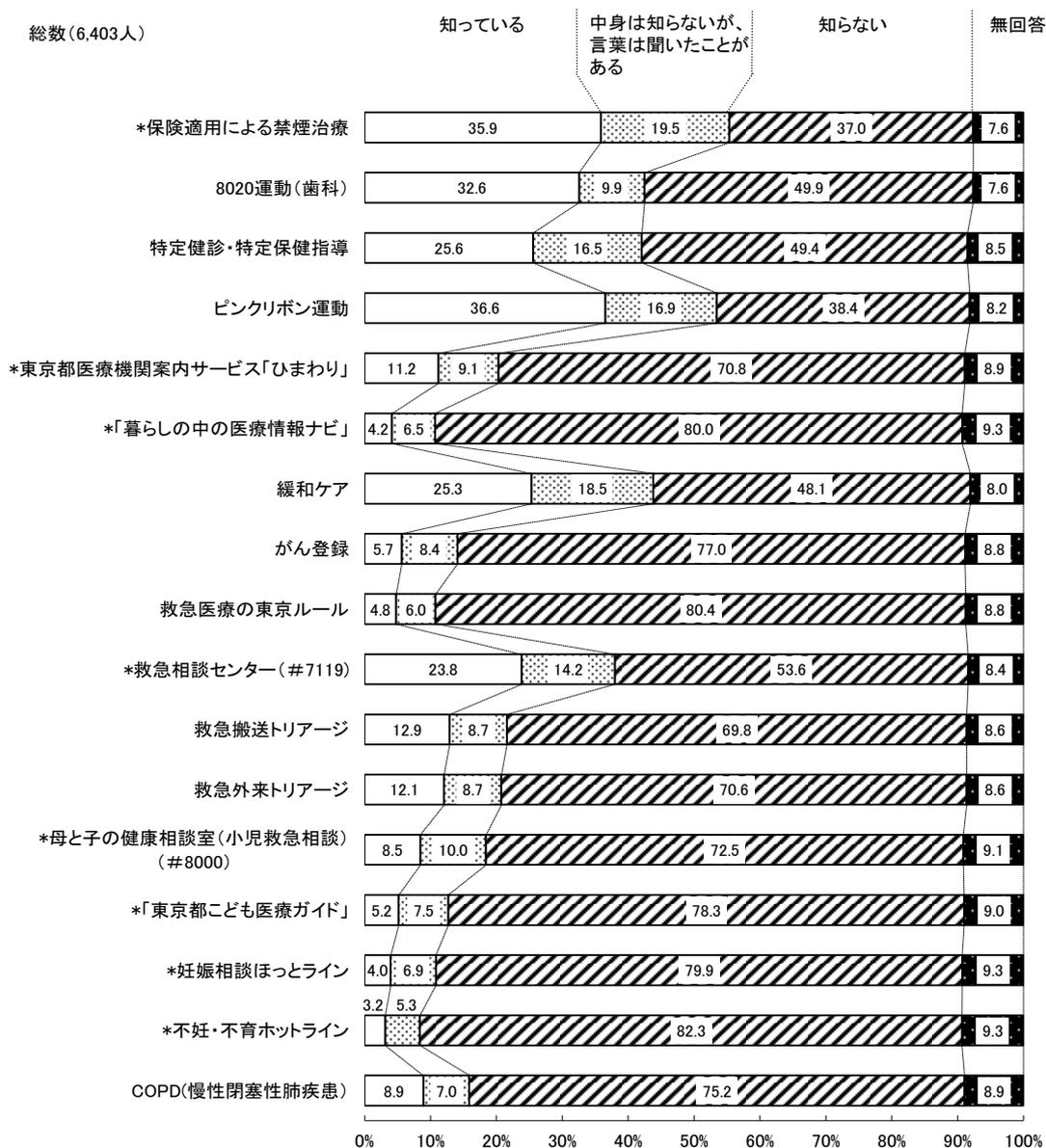
第11章 保健医療関連施策等の認知度

1 保健医療関連施策等の認知度

この調査に回答する以前に、以下の項目を知っていたかどうか聞いたところ、「知っている」割合で最も高かったのは、「ピンクリボン運動」で36.6%、次いで「保険適用による禁煙治療」35.9%、「8020運動（歯科）」32.6%、「特定健診・特定保健指導」25.6%と続いている。（図Ⅱ-11-1 本文 243p）

問 このアンケートに答えていただく前から、以下の項目について、内容をご存知ですか。

図Ⅱ-11-1 保健医療関連施策等の認知度



注) *を付した施策について、利用経験の有無を聞いたところ、「利用経験あり」の割合は以下のとおりであった。

- [保険適用による禁煙治療]：全体の1.3%
- [東京都医療機関案内サービス「ひまわり」]：全体の3.5%
- [暮らしの中の医療情報ナビ]：全体の0.3%
- [救急相談センター（#7119）]：全体の4.5%
- [母と子の健康相談室（小児救急相談）（#8000）]：全体の1.0%
- [東京都子ども医療ガイド]：全体の0.4%
- [妊娠相談ほっとライン]：全体の0.1%
- [不妊・不育ホットライン]：-%